

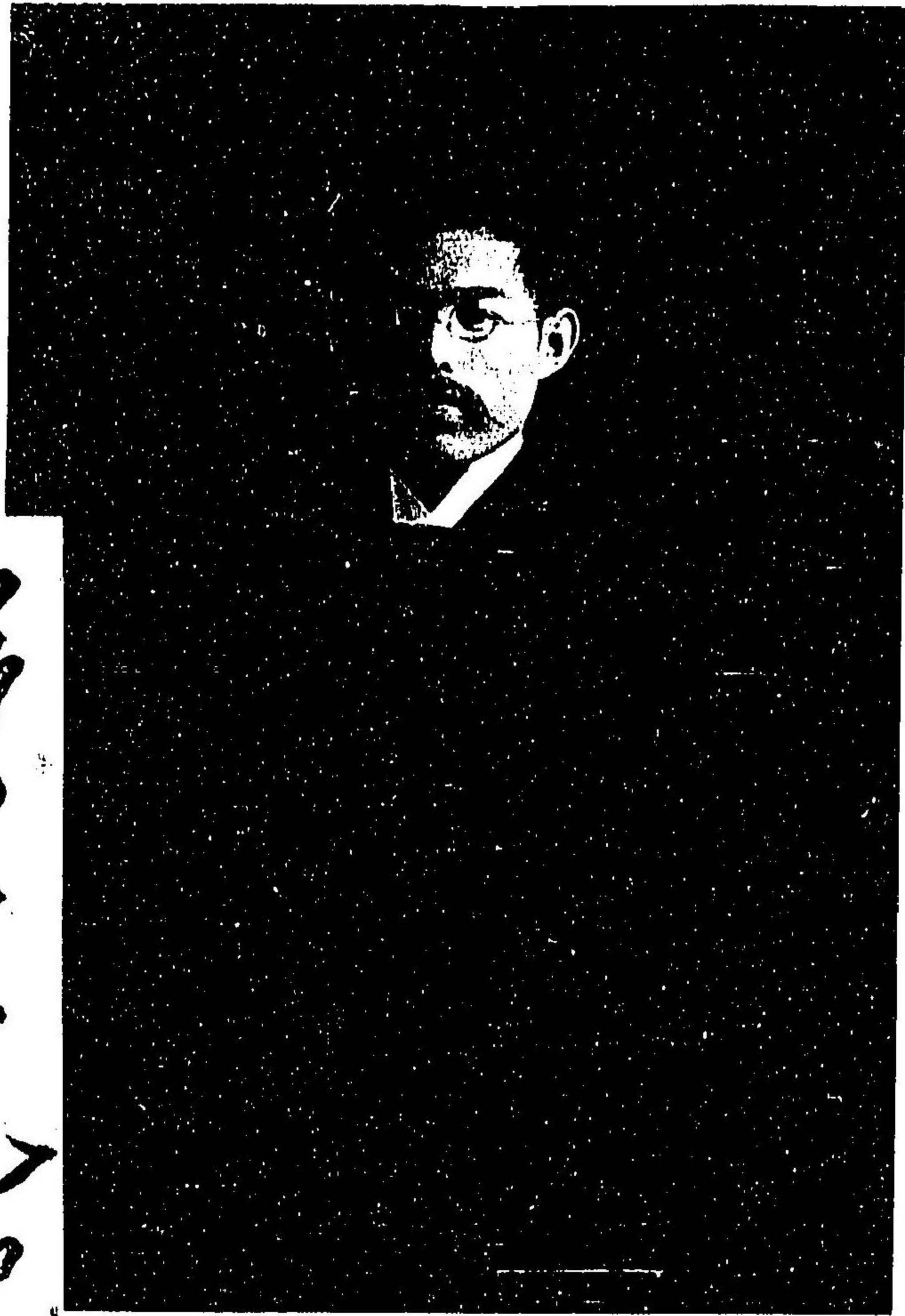
15-17

醫學士澤野虎次著

小兒濕疹症候及療法

近世眼科學補遺第二卷

明治
44. 5. 22
丙亥



淨聖虎次

序

余ガ近世眼科學ヲ著スヤ其第四卷ニ於テ治療編ヲ記述スルニ際シ、平素小兒ノ眼險濕疹ニ困難スルノ場合多キヲ以テ、特ニ同僚ナル兒科專門ノ澤野學士ニ起稿ヲ乞ヘリ。同君ガ余ノ需ニ應シテ一ケ年餘ヲ經テ余ニ示サレタルモノ即チ本稿ナリ。余コレヲ手ニシテ讀ムニ記載ノ順序ニ新機軸ヲ出シ、述説頗ル親切ヲ極メ尤モ臨牀的參考ニ適セリ。然レドモ余カ欲スル所ノモノトハ範圍大ニ過キタルヲ以テ余ハ君ニ改訂ヲ需メ君モ亦間ヲ得テ改メテ執筆センコトヲ諾セラレタルハ昨春ノコトナリキ。春風秋月、乾坤僅ニ一循環セルノミニシテ今ヤ君既ニ白玉樓中ノ人ト化シ去レリ。噫、天無情ナルカ、抑モ亦命運ハ始ヨリ定マレルモノアルカ。

澤野虎次君本姓田淵氏播磨國飾磨郡前庄村ニ生ル、中學時代出テ、揖保郡林田村澤野氏ヲ嗣ク。明治三十七年京都大學ヲ卒ヘ、小兒科教室ニアリ、同三十九年四月岡山醫學專門學校教授ニ任セラレ小兒科學ヲ擔當ス。人トナリ溫厚著實、學ニ篤ク職ニ忠ナリ。蒲柳ノ質ヲ以テ精勵度ニ過ギ、昨秋以來身神漸ヲ以テ衰弱シ元氣日ニ消沈スルノ觀アリタリキ。

本年一月二日偶々郷里ニアリテ肺炎ニ襲ハル、ヤ、病勢一ト度ハ輕快シタルモ、後チ一夜俄ニ革リテ一月二十日遂ニ逝ク。享年僅ニ三十有四。悲哉。

余コノ頃櫃底ヲ探リテコノ稿ヲ得タリ、コノ好著ヲ空シク余一人ガ交友ノ記念トシテ藏スルニ忍ビズ、弘ク益ヲ頒ント欲シテコ、ニ之ヲ公刊ス。

嘗テ聞ク、君ハ小兒榮養ニ興味ヲ有シ、コレガ研究ニ一生ヲ委スルノ志アリト。君カソノ本領ヲ發揮スルニ至ラズシテ挫折セルヲ悼ムモノハ余ノミニ非ズ。單ニ余ノ需ニ應ジテ起稿セルコノ小著マタ以テ君ノ學殖ノ一端ヲ窺フニ足ラム。

明治四十四年五月

辱知 小川劍三郎識

小兒濕疹ノ症候及療法 目次

第一章	小兒ト皮膚病トノ關係	一
第二章	「エクチエーム」ノ症候	四
	蔓延方法	八
	自覺症狀	八
第三章	豫後	九
第四章	診斷	一〇
第五章	一般療法	一〇
	甲 内療法	一一
	乙 外療法	一五
	第一 局部ヲ清潔ナラシムル方法	一五
	第二 皮膚保護法	一八
	第三 藥品ノ用法	一九
	第四 糊帶材料並ニ其方法	二六

第五 治療薬……………二七

一 表皮形成薬……………二七

二 脂漏制止薬……………三三

三 表皮剝離薬……………三七

四 掻痒緩解薬……………三八

第六章 濕疹ノ各病型ニ對スル療法……………三九

第一 急性紅斑性「エクチエーム」……………三九

第二 丘疹性「エクチエーム」……………四二

第三 急性小水泡性「エクチエーム」……………四三

第四 糜爛性「エクチエーム」……………四五

第五 結痂性「エクチエーム」……………四八

第六 膿疱疹様「エクチエーム」……………四九

第七 落屑性「エクチエーム」……………五〇

第八 輕症脂漏性落屑性「エクチエーム」……………五五

第九 脂漏性「エクチエーム」……………五六

第十 間擦性「エクチエーム」……………五七

第七章 特異ナル部位ニ於ケル「エクチエーム」療法……………六一

頭部、顔面、前額、鼻口、上口唇、眼瞼、口圍、口角龜裂
耳、額面「エクチエーム」ノ綳帶、其他ノ身體諸部

近世眼科學 補遺第二卷 小兒濕疹ノ症候及療法

醫學士 澤野虎次 著

第一章 小兒ト皮膚病トノ關係

小兒期ノ疾病中尤モ注目ヲ惹クハ哺乳兒乃至第一小兒期ニ於テ皮膚病ノ甚ダ
多キコト之レナリ。隨テ生後數年ノ小兒ニシテ迄モ或ル皮膚病ニ罹ラザルモノ
ハ甚ダ稀レニシテ或ハ濕爛 Interigo 或ハ濕疹樣疾病 Ekzematöse Erkrankung 等ニ襲ハ
ル、ヲ常トス之レ幼兒ノ皮膚ガ特異ナル素質ヲ有シ内外諸種ノ障礙ニ曝露セ
ラレ、加フルニ遺傳竝ニ諸種ノ體質 Disease アリテ其發生ヲ容易ナラシムルモノ
アルニヨル也即チ

一 生理的ニ生後數年間ニ於ケル幼兒ノ皮膚ハ著シク柔軟菲薄纖維弱ニシテ抵
抗力少ナク容易ニ損傷ヲ受ケ表皮剝離機轉 Keratolytischer Prozess 特ニ濕疹ニ素質
ヲ與ヘ、皮膚乳嘴部ハ發育不十分ナレドモ、血管ニ富ミ甚ダ鋭敏ニシテ其ノ血管

小兒ト皮膚病トノ關係

生理的素質

小兒下皮膚病トノ關係

外障碍

ハ又容易ニ血清ヲ滲出セシメ、時ニハ蕁麻疹様發疹ヲ生ジ、時ニハ又ヨク水泡ヲ形成シ、皮脂腺ハ幼少ナルモノニテハ汗腺ニ比シテヨク發育セルヲ以テ、容易ニ皮脂ノ鬱滯ヲ來ス、其他、生後ニ顯ル、皮膚落屑竝ニ毛髮交換等孰レモ皆皮膚病ノ發生ヲ容易ナラシムルモノ也。

内障碍

二 幼兒ニハ特異ナル内外障碍アリ、其外障碍トシテハ先ヅ唾液乳汁竝ニ其分解物、糞便竝ニ尿ニヨル不潔ハ勿論ナレドモ其ノ看護ノ狀況ニ關係シテ清潔ノ過不及ハ共ニヨク幼兒ノ皮膚ヲ障碍ス、斯クノ如ク諸種ノ器械的竝ニ化學的刺戟ニヨリ促サレタル皮膚病ハ、幼兒ノ激シキ搔破シカモ其手指ノ不潔ナル事ニヨリテ益々増激セラル。内部ヨリスル障碍モ種々アレドモ消化障碍ニ際シ生ズル毒物而モ其ノ自家中毒 Autointoxikation ニ因スルモノヲ最モ主ナルモノトシ、爲メニ、或ハ蕁麻疹様發疹ヲ來シ、或ハ既存ノ皮膚病ヲ増悪セシム。加之病的ニ變化セラレタル糞便ニヨリ直接ニ、或ハ諸種細菌或ハ其ノ生産毒物ノ腸管ヨリ血液循環ニ達スルニヨリテ間接ニ諸種皮膚病ノ誘起セラル、ヲ見ル。其ノ他、榮養モ亦大ニ皮膚ニ影響ヲ與フルモノニシテ、麻瘦セル榮養不良ナル惡液質性小兒ノ容易ニ皮膚病ニ感應スルガ如ク、哺乳兒ニテハ榮養過度ニヨリ、貧血兒ニハ過度ノ脂肪沈著ヲ來シ、ヨク頭部竝ニ顔面ニ濕疹ヲ來スヲ見ル (Milchkezem)。コノ兩者

滲出性體質腺病質

腺病質性「エクチエーム」

不明ノ素質

ハ共ニ榮養法ノ矯正ニヨリテ初メテ治療其ノ效ヲ奏スルモノナリ。

三 遺傳的疾、病竝ニ體質 Diathese ハ何レモ皮膚病ノ發生ヲ助長スルモノナレドモ、特ニ後者ヲ甚シトス。體質ニテハ滲出性體質 Exsudative Diathese 竝ニ腺病質 Skro-phulose ヲ最ナルモノトシ、滲出性體質ニテハヨク哺乳時期ニ諸種ノ發疹殊ニ「エクチエーム」ヲ生ジ、腺病質ニテハ最モ屢々二歳以後ニ於テ、時ニ春機發動期ニ達スル腺病性、エクチエームヲ發生スルヲ見ル。腺病質性、エクチエームノ頻發ハ、其ノ皮膚竝ニ粘膜ノ有スル損傷性 Vulnerabilität ニヨリテ容易ニ證セラル。コノモノハ好ンデ顔面ニ來リ屢々頑強ニシテ殊ニ粘膜ニ境界セル部ニ來ルヲ固有トス。即チ口眼、鼻、耳ノ周圍ニ來リ或ハ粘膜ニ波及シテ慢性腺病性粘膜加答兒ヲ來シ、或ハ粘膜ノ疾病ニ續發シテ來ル、之レニヨリテ口唇、鼻口、竝ニ眼瞼、殊ニ眼瞼縁ハ肥厚シ浮腫狀トナリ、エクチエーム様トナルヲ見ル。コノ「エクチエーム」ニ固有ナルハ主トシテ非常ニ滲出性ニシテ、且ツ其ノ部ノ粘膜ニ波及シテ慢性粘膜加答兒ヲ誘發スル事之レナリ。然レドモ眼瞼縁ノミニテハ瘻口落屑性「エクチエーム」 Schuppendes Ekzem ノ像ヲ呈シ、眼瞼縁炎 Blepharitis marginalis ヲ來ス。尙其ノ他不明ノ素質 Disposition アリテ、容易ニ皮膚疾病殊ニ「エクチエーム」ヲ生ズルモノナリ。

四 神經系統ニヨリ、反射性ニ皮膚炎ノ誘起セラル、事モ稀ナラズ。齒牙發生ト小兒下皮膚病トノ關係

「エクチエーム」Eczemノ症候

皮膚病トノ關係ハ未ダ明カナラザレドモ、齒牙發生期ハヨク皮膚病ノ發現ヲ催進スルモノナル事ハ蓋シ一般ニ信ゼラル、所ナリ。
以上ハ幼兒ノ一般皮膚病ノ原因ナリ、夫レ小兒ニ來ル皮膚病ハ固ヨリ種々アレドモ、其ノ八〇%ハ「エクチエーム」ニ屬ス。
コレ即チコ、ニ論ゼント欲スルモノナリ。

「エクチエーム」ノ定義ハ學者ニヨリテ異ナレリト雖モ、皮膚ノ加答兒性病變ナリト云フヲ最モ單簡ナルモノトス、其ノ症候ハ粘膜加答兒ニ酷似シ多少異ナル所アルハコレソノ兩者ノ間解剖學的造構ヲ異ニスルニヨル。
Ec (aus) zema (Sickerung) ハ一ニ濕疹 nassende Flechte ト云フ。

第二章 「エクチエーム」Eczemノ症候

「エクチエーム」ハ潮紅、腫脹、感覺障礙並ニ滲出ヲ以テ來ル、皮膚ノ表在性炎衝性疾患ニシテ或ハ角質層 Hornschicht ヲ擧揚シテ水泡膿疱並ニ落屑ヲ來シ、或ハ其ノ全ク剝離セララル、ヤ、稍、深部ノ表皮層 tiefere Epidermisschicht ヲ露出シ

定義

症候

テゴ、ニ濕潤面ヲ生ズ、外觀的所見ニヨリテ分類スルコト次ノ如シ。

一 紅斑性「エクチエーム」 Eczema erythematosum. 皮膚紅潮シ浮腫狀ニ腫脹シテ緊張シ側方ヨリ熟視スレバ滲出ニヨリ生ジタル小隆起ヲ有ス。

二 丘疹性「エクチエーム」 Eczema papulosum. 滲出機轉ノ前者ヨリ増進シテ丘疹狀ヲ生ジタルモノ。

三 小水疱性「エクチエーム」 Eczema vesiculosum. 滲出機轉ノ猶ホ前者ヨリ顯著ニシテ水疱ヲ形成セルモノナリ、然レドモ其ノ水疱ハ小ニシテ互ニ相癒合シテ大水疱ヲ形成スル傾ヲ有セズ。

四 膿疱性或ハ膿疱疹様「エクチエーム」 Eczema pustulosum. S. impetiginosum. 第二次的ニ障礙加ハリ來ルモノニシテ殊ニ混合傳染ニヨル事多シ。

五 糜爛性「エクチエーム」 Eczema madidans. 其ノ名ノ示ス如ク「エクチエーム」ニ固有ナル病期ニシテ滲出ノ甚シキカ、或ハ表皮ノ殊ニ纖弱ニシテ角質層ノ剝離ニヨリ、赤色濕潤面ヲ露出セルモノナリ。

「エクチエーム」Eczemノ症候

「エクサチエーム」Eczemaノ症候

六

六 結痂性「エクサチエーム」Eczema crustosum. 濕潤面空氣ノ爲メ

ニ乾燥シテ痂皮ヲ形成セルモノ、殊ニ毛髮部ニ於テ頻發ス。

七 落屑性「エクサチエーム」Eczema squamosum. 炎衝ハ消退シ皮膚

面乾燥シテ落屑セルモノ故ニ「エクサチエーム」ノ末期ナルト共ニ又其ノ治療

期ナリ。

其他「エクサチエーム」ノ變態トシテ

八 脂漏性「エクサチエーム」Eczema seborrhoicum (Unna) s. parasita-

rium s. psoriasisforme. 殊ニ哺乳時期ニ來ルモノニシテ、哺乳兒「エク

サチエーム」凡テ皮脂漏 Seborrhoeaトハ實ニ離ル可カラザル關係ニアリ。皮脂

漏異常ニ亢進シタル落屑ニ滲出 Exsudation ノ加ハリタルモノヲ脂漏性

「エクサチエーム」ト云ヒ、多クハ痂皮ヲ形成ス。皮脂漏ノ最モ單ナルモノハ、脂漏

性加答兒 Seborrhoischer Katarrh 或ハ乾性皮脂漏 Seborrhoea sicca 或ハ頭上白

色糠秕疹 Pityriasis capitis alba ニシテ、液性皮膚分泌物ヲ排出スル油性皮脂

漏 Seborrhoea oleosa ハ其ノ甚シキモノナリ。然レドモ皮脂漏ニ固有ナルハ

實ニ兩者ノ中間ニ存スルモノニシテ、厚キ脂肪様痂皮ヲ形成シ、多クハ頭

急性
亞急性
慢性

部殊ニ顛頂部ヨリ始マルモノトス、之レヲ皮膚漏 Gneis ト云フ。コノ皮脂
漏ハ「エクサチエーム」ノ起始點ヲナスモノニシテ、皮膚潮紅シ、只脂肪ノミナラ
ズ、液體ヲ滲出スルニ至レバ、脂漏性「エクサチエーム」ト變ズ、斯クノ如ク皮脂漏
ヨリ始マリシ頭部「エクサチエーム」ハ、好シク顔面ニ蔓延シ、種々ノ「エクサチエーム」
像 Eczembildヲ呈スルモノトス。

九 間擦性濕疹或ハ濕爛 Intertrigo 主トシテ接觸セル皮膚ノ部ニ

來リ、通常ハ角質層ノ軟化 Maceration ニヨリ、赤色濕潤性ニシテ稍々滑澤

ナル皮膚面ヲナセリ。

以上ノ各病期ハ單獨ニアラハル、ヨリモ寧ロ其ノ諸種相合同シテ來リ、且

ツ、其ノ強度竝ニ部位ニ關係シテ非常ニ多様ナル病像 Polymorphicヲ呈スル

ヲ常トス、之レ本病ニ固有ナル點ニシテ、亦治療法ノ難キ所以ナリ。

其持續經過隨伴症候ノ強度等ニヨリテ分ツテ急性、亞急性及慢性ト

スレドモ固ヨリ判然タル區別アルニ非ズシテ、其差實ニ階級的 Straduellナ

ルノミ、シカモ其ノ急性ノ度 Acuitatヲ異ニセルモノモ亦同時ニ同人ニ相發

スル事アリ、更ニ搔破其ノ他ノ器械的刺戟ニヨリテ病像ハ益々複雑トナル

「エクサチエーム」Eczemaノ症候

七

蔓延方法 Ausbreitungsweise.

「エクサチーム」ハ著シク蔓延スルノ傾向ヲ有シ、連続性 *per continuitatem* 接觸性 *per contactum* 又ハ飛散性 *sprungweise* ニ蔓延ス。散發スルハ多クハ反射性ニシテ神経系路ニヨルモノナリト云フト雖モ明カナラズ、「エクサチーム」アレハ皮膚ヲ刺戟スル毒物ヲ生ジ、其ノ一部ハ吸收セラレテ素質ヲ有スル皮膚ノ他部ニ「エクサチーム」ヲ生ジ、或ハ又一部ハ直接ニ手指等ニヨリテ他ニ移植セラル、モノト考フル事ヲ得ベシ。

自覺症狀

主ナルモノハ知覺過敏 *Hyperaesthesia* 竝ニ知覺異常 *Paræsthesie* ニシテ灼熱性疼痛及搔痒、コレナリ。搔痒ハ何レノ時期ニモ來ルト雖モ殊ニ退行期ニ甚シトシ、只脂漏性「エクサチーム」ノ時ニノミ之ヲ缺ク。コノ搔痒ハ唯本病ヲ増悪セシメ、其ノ經過ヲ遷延セシメ、且ツ搔破ニヨリ新タナル「エクサチーム」ヲ誘

發セシムルノミナラズ、猶ホヨク患者ノ一般症狀ヲ誘發スルノ恐アリ。猶ホ搔破ハ「エクサチーム」ヲシテ膿疱疹様「エクサチーム」タラシムルノミナラズ又ヨクコレニヨリテ潰瘍炎、癬、潰瘍形成竝ニ其ノ所屬ノ淋巴腺炎等ヲ招來ス。

第三章 豫 後

急性ナルハ通常佳良。二、三週ニシテ治癒ス。慢性ナルハ頑強ニシテ治癒困難ナリ。屢々極微ノ落屑部ヲ殘シテ假性治癒シ、後ニ再發ノ源ヲナス事アリ、然レドモ忍耐ト療法適當ナルヲ得バヨク治癒セシムルコトヲ得、故ニ一般ニ云ヘバ佳良ナリ。

又其ノ病變單ニ表在性ナルヲ以テ癩痕ヲ留メズシテ治癒シ永久性毛髮脱落ヲ來ス事モ亦稀レナリ、然レドモ時ニハ「エクサチーム」死 *Ekzentod* ノ來ル事アリ、かめーれる *Camerer* 氏ハ其ノ原因ヲ心筋炎 *Myocarditis* ニ歸シ、れーん *Rehn* 氏ハ生活時ニ心臟擴大ヲ證シ、死後心筋ノ變性ヲ見タリト云ヘリ。又時ニハ腎臟炎或ハ薄弱ナル小兒ニ瀰蔓性「エクサチーム」ノ來レル時ニハ肺炎、重症胃腸疾患ノ如キ危險ナル合併症ヲ誘發ス。

「エクサチーム」死

第四章 診 斷

其ノ病狀千態萬狀ナルガ故ニ鑑別診斷非常ニ困難ナルコトアリ本症ニ固有ナル次ノ諸點ニ注意スレバ誤謬ナキニ庶幾カラシ。

一 單ニ表皮ノ剝脫ニヨリテ濕潤性ナル事之レ他ノ皮膚病ニハ多ク見ザル所ナリ、故ニ痂皮ノ存スル時ハ先ヅコレヲ去リ其ノ基底ヲ熟視ス可シ。

二 境界明劃ナラザル發赤面ニ、小ナル丘疹、小水泡疹、或ハ灰白色ノ鱗屑ノ存スル事、而シテ其ノ鱗屑ハ相互竝ニ其ノ基底ト固ク粘著セズシテ容易ニ剝離ス。

三 其ノ病狀ノ多樣 Polymorphie ナル事、若シ多樣ナラザレバ其ノ經過中、發疹ノ變化竝ニ濕潤ノ來否ニ注目スベシ。

四 瘙癢ノ存スル事

其ノ他發疹ノ部位竝ニ其ノ原因的關係ニ特異ノ點アレバ注意ヲ要ス。

第五章 一般療法

皮膚病中治療最モ困難ナリ、殊ニ小兒ニテハ皮膚損傷シ易ク、他ノ疾病ニ對シテハ無力性ナル藥品モヨク其ノ増悪ヲ促ス恐アリ且ツ藥品ノ奏效必ズシモ一定セズ、加之症狀同時ニ多樣ナレバコレニ適應シテ同時ニ種々ナル處置ヲ要スルコト亦療法ヲ困難ナラシムル所以ナリ。然レドモ其ノ治療ノ眼目ハ原因的動機ヲ去リ自覺症ヲ緩解セシメ、疾患部ヲ保護シ、疾病ノ蔓延竝ニ其ノ再發ヲ豫防スルニアリ、隨テ内、外療法ニ加フルニ、常ニ長キ後療法ヲ施ス可キナリ、猶ホ療法ハ可及的單簡ナルヲヨシトス。

甲 「エクチーム」ノ内療法 *innere Behandlung des Ekzems.*

勉メテ其ノ内因 *innere Ursache* ヲ發見シ若クハ豫想セバ先ヅ其ノ除去ニ努ム可キナリ、即チ内部ニ存スル病的機轉ヲ發見セバ先ヅ其ノ治療ヲ計ルベク必ズ常ニ一般身體ノ健康ヲ顧慮スルヲ要ス。

「エクチーム」ニ關係アル主ナル内部ノ疾病ハ次ノ如シ。

消化障礙

一 消化障礙

最モ主ナルモノニシテ、殊ニ哺乳兒ニテハ異常分解ヲナセル糞便ノ排泄

一般療法

腸炎
慢性便秘

一般療法

ヲ來ス腸炎竝ニ慢性便秘ハ特ニ其ノ主ナルモノナリ。消化障_ト「エクチェ
 ーム」トノ關係ハ、自家中毒ニヨルコト多シト雖モ、コノ際下劑ヲ投與スル
 モ效果少ナク、必ず先ヅ其ノ榮養法ヲ矯正セザルベカラズ。即チ榮養過度
 ニ因スルモノニハ、食飼ヲ攝シ人工榮養ニヨレルモノハ其ノ稀釋度ヲ加
 減ス可ク、殊ニ食物中ノ脂肪質ヲ減少シ、三ヶ月以後ノモノニテハ澱粉質
 ヲ増量セシム可シ。(Einkerstein, Coblenz, Würtz)但シ便秘ノ發來ヲ豫防スルヲ
 要ス。尙ホ生後數ヶ月ヲ經過シタルモノニテハ、果汁ヲ與フルハ大ニヨシ
 トス。之レニ反シ人工榮養兒ニシテ慢性胃腸疾病ヲ有セルモノニシテハ
 食飼ノ配合ヲ矯正シ、榮養増進ヲ計ルベキナリ。稍々年長セルモノニテハ
 食物ノ種類ヲ變換シ肉類及ビ鶏卵ヲ攝シ、野菜ヲ増加シ、猶ホ新鮮ナル果
 實或ハ果汁ヲ與フルハ效果アルモノトス。下劑ヲ用フル場合ニハ緩和ナ
 ルモノヲヨシトシ、大黃、旃那葉、答滿林度「Tamarinde」カスカラ、サクラダ、硫
 黃等ノ如シ而シテ屢々交換スルヲヨシトス。

二 體質 Diathese

滲出性體質

滲出性體質 exsudative Diathese (Czerny) ハ好ンデ幼兒ヲ襲ヒ主トシテ皮

膚ノ分泌過度(脂漏、乳痂、Strophulus infantum 等)竝ニ粘膜ノ「カタール」(假性)ク
 ループ竝ニ氣管枝喘息ノ時ノ如キヲ誘發スルモノナリ。此ノ場合ニハ其
 ノ體質ノ變換ヲ促ス可ク、食飼竝ニ生活狀態ノ矯正ヲ要ス。澱粉質ヲ増加
 シ果汁、又ハ果實ヲ與ヘ日光竝ニ新鮮ナル空氣ニ浴セシメ、藥品トシテハ
 沃度鐵舍利別ヲ費用ス。

腺病質

腺病質 Skrophulose 腺病質ニ對シテハ縱令發疹ハ著明ナル腺病性質ヲ

示ササルモ、攝生ニ注意シ溫浴ヲ施シ肝油或ハ沃度ノ如キ藥品ヲ以テ、常
 ニ其ノ原因ノ除去ニ努ム可シ。

其ノ他糖尿病 Diabetes 痛風症 Arthritis 等ニ對シテハ適當ナル療法ヲ要ス

可キモ小兒ニハ稀ナリ。

三 氣管枝喘息 Bronchasthma

四 泌尿器ノ疾病、殊ニ腎臟炎竝ニ膀胱炎

五 鬱血ヲ來ス血管系統ノ疾病

内用藥

「エクチェーム」ニ對スル内用藥ハ次ノ如シ。

「ホーレル」水最モヨクコトニ慢性症ニ用ヒラルニヶ月以上持續スルニ非ラ

一般療法

ザレバ效ナシ。

- 一乃至二歳ニハ一回量 〇〇五
- 三乃至四歳 〇〇五
- 五乃至一〇歳 〇・一
- 一〇乃至一五歳 〇・一五

即チ一日三回一回量約一乃至三滴ヲ用ユ

「カコヂール酸」Caodylsäure (五四%亞砒酸)並ニ「アトキシール」Atoxyl (三七七%亞砒酸)亞砒酸ノ代用品ナリ。殊ニ「アトキシール」ハ皮下注射料トスルコトヲ得。

肝油 Oeum jecoris aselli ハ腺病質性「エクチエーム」ニ用ヒラル。

「ザリチール」酸製劑殊ニ「ザロール」ハ一回量〇〇五乃至〇・一ヲ紅斑性「エクチエーム」ニ用ヒラル。

「アンチピリン」並ニ臭素加里ハ掻痒ニ對シ用ヒラル。

硫黄並ニ「イヒチオール」ハ脂漏性「エクチエーム」ノ際ニ用ヒラル。

乙 一般外療法 allgemeine äussere Behandlung.

凡テ「エクチエーム」ハ經過中種々ナル皮膚變化ノ状態ニ適應シテ治療ヲ講ズベク模型的 schematisch ナル可ラズ。藥品ハ常ニ交換スルヲ要ス。先ヅ緩和ナルモノヨリ漸次強度ナルモノニ移リ更ニ再ビ緩和ナル藥品ニ還ル可シ。斯クノ如ク「エクチエーム」ハ其ノ病變ニヨリ處置ヲ異ニス可キモノナルガ故ニ屢々診察スルヲ要ス。

「エクチエーム」ヲ處置スルニ當リテハ先ヅ左ノ諸點ヲ知ラザル可ラズ。

第一 局部ヲ清潔ナラシムル方法

水、水浴、急性期ニハ水ヲ用ユルハ不可也。之レ水ハ表皮剝離劑 Kollatolyticum ニシテ、急性ナル程滲出ニヨリ障礙セラレタル角質層ヲ更ニ軟化シ障礙スルニヨル。隨テ純粹ナル水浴モ亦小水疱性、濕潤性、結痂性「エクチエーム」ノ時ニハ殊ニ害アリ。然レドモ哺乳兒ニテ長ク水浴ヲ禁ズル事能ハザル時ニハ或ハ諸種ノ藥品ヲ追加シ(例ヘバ醋酸礬土水、硼酸鉛糖糊皮)若シ頭部

竝ニ顔面ノミ犯サレタル場合ニハ泥膏軟膏ノ如キモノヲ以テ局部ヲ蓋ヒ入浴セシム。之レニ反シテ病機ノ弛鈍性 torpid ニシテ殊ニ浸潤セルモノハ新陳代謝竝ニ血行ヲ催進スル外皮膚ヲ軟化シ且ツ清潔ナラシムル爲メニ溫浴ヲ用ヒ時ニハ同時ニ加里石鹼 Kaliseife ヲモ用ユ。

浴水ニ混スル藥品

糖枇

「カミルン」

糠皮

硫酸曹達
硫酸加里

浴水ニ混用セラルル藥品

糖枇 Kieie 半乃至三磅ノ小麥糠ヲ布片ニ包ミ約五リートルノ水中ニテ半時間煎出シ一浴ニ加フ。炎症ノ盛ナル際ニ用ヒラル。

「カミルン」 Kamillen 手ニ數杯ヲ五リートルノ水ニテ煎出シテ一浴ニ加フ。收斂作用アリ。

糠皮 Eichenrinde 五〇〇〇ヲ五リートルノ水ニテ煎出シ一浴ニ加フ。前者ヨリモ強ク收斂シ殊ニ濕爛ニ用ヒラル。入浴時間ハ三〇分乃至一時間トス。

硫黃 ヨク用ヒラル。ハ亞硫酸曹達ナリ。最モ緩和ナル小兒浴ニシテ一浴ニ五〇〇ヲ加フ。猶ホ硫化加里ニ〇乃至五〇瓦竝ニ硫黃一浴ニ二〇乃至三〇瓦モ用ヒラル。瘙癢竝ニ慢性「エクチエーム」ニ效アリ。

「タンニン」

過マンガン酸加里

昇汞

「クレオリー」

石鹼

偏陳醋酸土水
硼酸水
鉛糖水
「アンズルチー」水

「タンニン」 Tannin 收斂ノ效アリ一浴ニ二〇〇隔日一回ス。

過マンガン酸加里 Kali hypermanganicum 一浴ニ一〇。瘙癢膿疱疹様發疹竝ニ瘡ニ效アリ。

昇汞 Sublimat 一浴ニ〇・二五。

「クレオリー」 Kreolin 一〇〇乃至五〇〇ヲ一浴量トス。膿疱疹様發疹ニ效アリ。

其他「テール」炭酸曹達(一乃至四磅)竝ニ石鹼(半乃至一磅)モ亦用ヒラル。

II 石鹼 Seife. 脱脂シ且ツ角質層ヲ強ク軟化セシメ且ツ剝離セシムルヲ以テ急性「エクチエーム」ニ適セザルノミナラズ屢疾病ヲ増悪セシム。適應症ハ慢性殊ニ浸潤性竝ニ落屑性「エクチエーム」ニシテコノ際ニハ加里石鹼ヲ最モヨシトス。シカモ使用ニ適スル時期ヲ定ムルコト難シ。

水及ビ石鹼ハ慢性症ニノミ適ス。急性症ニ用ユベキハ次ノ二種トス。

III 最モヨク用ヒラル、モノハ偏陳 Benzin ナレドモ、猶ホ一乃至二%ノ醋酸土水 Liquor aluminium aceticum 三%ノ硼酸水 Aqua boricum 三%鉛糖水 Aqua plumbum aceticum 〇・五%ノ「アンズルチー」水 Resorcinlösung モ亦用ヒラル。偏陳ハ

剝脱竝ニ炎衝ノ存スル時ニモ用ヒテ可ナリ。

四 諸種ノ脂肪類

脂肪類中最モヨク用ヒラル、モノハ油劑 Oleum Olivaceum ナレドモ、常ニ純粹ナルモノヲ選ブ事ニ注意ス可シ、例「オリーブ油 Oleum Olivaceum」
胡麻油 Oleum sesami 肝油 Lebertran 竝ニ甘扁桃油 Süsses Mandelöl 猶ホ諸種ノ脂肪類殊ニ軟膏様脂肪ニ對シテハ、特異質アルモノ稀レナラズ注意ヲ要ス。

「オリーブ」油
胡麻油
肝油
甘扁桃油

五 「エクチエーム」ノ寄生性發生 Parasitare Entstehung ハ猶ホ確定セルモノニ非ラザルノミナラズ、皮膚ノ消毒ハ其ノ目的ヲ達シ得ザルガ故ニ消毒藥ヲ以テ拂拭スルハ有害無益ナリトス。

第二 皮膚保護法

皮膚ノ清潔ニ次デ必要ナルハ外部ヨリスル刺戟ニ對シテ皮膚ヲ保護スルニアリ、自然ハヨク疾病ヲ治癒セシムルモノ Natura curat ナルガ故ニ、吾人ハ皮膚ノ治癒機能ヲ障礙セズ自然ヲ補助シ皮膚ノ刺戟ヲ除去スレバ足レリ、先ヅ皮膚ニ絶ヘズ作用セル空氣光線汚垢竝ニ衣服ニヨル障礙竝ニ其ノ他

諸種ノ器械的刺戟ニ對シテ保護スベシ、即チ軟膏泥膏竝ニ撒布劑ヲ用キ、出來得ベクシバ綿帶ヲ施ス可シ、綿帶ハ殊ニ搔痒ノ甚シキ時竝ニ小兒ニ必要ナリトス、小兒ハ搔破ニヨリ増悪蔓延混合傳染 Mischinfection ヲ來シ猶ホ毛囊炎 Folliculitis 癩 Furunkel 竝ニ淋巴腺炎 Lymphadenitis 等ノ合併症ヲ來ス事アレバナリ、若シ綿帶ノ施シ難キ時ニハ小兒ノ手ヲ緊縛シ或ハ手袋ヲ穿タシメ或ハ袖ヲ縛リテ搔破ヲ防ギ、又ハ手ヲ清潔ニ保チ諸種細菌ノ感染ヲ豫防ス可シ。

第三 藥品ノ用法

藥品用法ハ甚ダ必要ナルモノニシテコレガ適否ニ由テ疾病ヲ増悪セシムベク、亦以テ治癒セシムベシ。

水溶液 例ヘバ醋酸礬土水、硼酸水、鉛糖水、レゾルチン水等ハ急性症ニヨシ、コレ炎症ヲ去リ滲出ヲ減ジ冷感ヲ與フルノ作用アルヲ以テナリ、之レ等ノ溶液ハ又冷罨法 Kühlschlag 竝ニ蒸罨法 Dünnschlag トシテ用ヒラル。冷罨法ハ數分ニシテ交換シ、蒸罨法ニハ油紙ノ如キ非滲透性物質ヲ以テ蓋

水溶液
冷罨法
蒸罨法

ヒ二乃至三時間毎ニ交換スルモノトス。顔面ニ於ケル冷罌法ハ、小兒睡眠中ニ行フヲヨシトス。斯クノ如キ療法ニ適セルモノハ紅斑性小水疱性濕潤性「エクサチエーム」ナリトス。

「アルコール」溶液
「エーテル」溶液

「アルコール」並ニ「エーテル」溶液 慢性症ニ用ヒラル例ヘバ「エーテル」ヲ幾ノ如シ。

撒布劑
滑石
酸化亞鉛
澱粉
炭酸「マグネシウム」
シニア

撒布劑 Puder. 例ヘバ滑石 Talcum 酸化亞鉛 Zincum oxydatum 澱粉 Amyli-
炭酸「マグネシウム」 Magnesium carbonicum ノ如キ無力性ニシテ乾燥セシムル作用ヲ有スル散藥ハ甚ダ屢濕潤性「エクサチエーム」ニ皮膚保護藥トシテ用ヒラル。

注意 強度ノ痂皮形成ニヨリ分泌物ノ堆積ヲ誘發セハ「エクサチエーム」ヲ増添セシムルノミナラズ、淋巴管炎 Lymphangitis 竝ニ淋巴腺炎 Lymphadenitis ノ如キ合併症ヲ招來スル危險アル事ナリ。猶ホ毛髮部ニハ撒布劑ニヨリ痂皮形成殊ニ容易ナレバ常ニ避クルヲヨシトス。然レドモ毛髮稀薄ナル時竝ニ幼兒ニハ用エルモ可ナリ。

處方

酸化亞鉛

- 澱粉 各三〇〇
- 滑石 各三〇〇
- 炭酸「マグネシウム」 一〇〇

處方

酸化亞鉛 各等量

澱粉

而シテ撒布劑ノ腐敗ヲ防グニハ一〇%ニ硼酸又ハ二%ニサリチール「酸」ヲ加フルヲ可トス。

震盪合劑

震盪合劑 Schüttelmischung. ハ急性症ニ用キラル大略撒布劑三〇乃至四〇%ニ七〇乃至六〇%ノ水溶液竝ニ「グリセリン」ヲ加ヘタルモノニシテ例ヘバ次ノ如シ。

處方

- 滑石 各一〇〇
- 亞鉛華 各一〇〇
- 澱粉 各一〇〇

一般療法

一般療法

「グリセリン」

五〇

鉛糖水

一五〇〇

處方

酸化亜鉛

各二〇〇

滑石

「グリセリン」

一〇〇

鉛糖水

五〇〇

外用

處方

酸化亜鉛

各二〇〇

澱粉

「グリセリン」

一〇〇

醋酸礬土水

二〇〇

餾水ヲ加へ

一五〇〇トス

外用

軟膏

病變ノ如何ニヨリ二五〇乃至一〇%ノ「イヒチオール」乃至二%ノ「ツメノール」
「Tunecol」五〇乃至一〇%ノ「レゾルチン」ヲ加フルモ可ナリ。

コノ震盪合劑ハ冷感ヲ與ヘ爽快ナラシムルノ外、ヨク皮膚ニ附著スルヲ以テ急性症ニハ大ニヨシ。

軟膏 便利ナルガ故ニ最モヨク用ヒラルレドモ短所アリ、即チ或「エクチ

エーム」ハ全ク軟膏ニ耐ヘズ故ニ或種ノ軟膏ノミヲ用ユルニ習慣スルハ不可ナリ。軟膏ハ脆弱ニシテ落屑シ強度ニ緊張セル皮膚ニハ其部ヲ弛緩セシメ滑澤ナラシムルヲ以テ佳良ナレドモ急性小水疱性竝ニ濕潤性症ニハ不可ナリ之レ分泌物排泄ノ妨ゲラル、ニ由ル。

處方

酸化亜鉛

滑石

鉛糖水

「グリセリン」

各二五〇

外用

一般療法

軟膏基礎劑

軟膏基礎劑

「ワゼリン」Vaseline

「ミチオン」Mithin 腐敗せず、且ツ冷感ヲ與へ爽快ヲ覺エシムルノ外多クノ

「エクチエーム」ニ適應ス。

「レゾルビン」Resorbin 水銀劑ノ軟膏原料ニ適ス。

「カゼイン」軟膏 Ung. caseini「テール」劑調和ニ適ス。

「バゾゲーン」Vasogen.

坭膏

坭膏・軟膏ノ一種ニシテ之レニ加ヘラレタル無力性撒劑ニヨリ、分泌物

ヲ吸收シ、單軟膏ノ有セル缺點ヲ補ヘルモノナリ。鬆粗 Pops ナルガ故ニ分

泌物ノ排泄ヲ自由ナラシメ發疹部ヲ乾燥セシメ加フルニヨク皮膚ニ附着

ス、故ニ凡テノ種類ノ「エクチエーム」ニ好ンデ用ヒラル。基礎坭膏 Grundpasta

シテハ、うんなー氏亞鉛坭膏 Unas Zinkpasta らつさー氏坭膏 Lassar's Pasta 或

ハ「ミチオン坭膏 Mithinpasta」ヲヨントス。殊ニ後者ハ已ニ皮膚ヲ乾燥セシメ病

變ヲ緩解シ炎症ヲ緩和ナラシムル作用ヲ有スレバナリ。

處方 (らつさー氏坭膏)

基礎坭膏

うんなー氏亞鉛坭膏

らつさー氏坭膏

「ミチオン」坭膏

膏

軟膏基礎劑

軟膏基礎劑

「ワゼリン」Vaseline

「ミチオン」Mithin 腐敗せず、且ツ冷感ヲ與へ爽快ヲ覺エシムルノ外多クノ

「エクチエーム」ニ適應ス。

「レゾルビン」Resorbin 水銀劑ノ軟膏原料ニ適ス。

「カゼイン」軟膏 Ung. caseini「テール」劑調和ニ適ス。

「バゾゲーン」Vasogen.

坭膏

坭膏・軟膏ノ一種ニシテ之レニ加ヘラレタル無力性撒劑ニヨリ、分泌物

ヲ吸收シ、單軟膏ノ有セル缺點ヲ補ヘルモノナリ。鬆粗 Pops ナルガ故ニ分

泌物ノ排泄ヲ自由ナラシメ發疹部ヲ乾燥セシメ加フルニヨク皮膚ニ附着

ス、故ニ凡テノ種類ノ「エクチエーム」ニ好ンデ用ヒラル。基礎坭膏 Grundpasta

シテハ、うんなー氏亞鉛坭膏 Unas Zinkpasta らつさー氏坭膏 Lassar's Pasta 或

ハ「ミチオン坭膏 Mithinpasta」ヲヨントス。殊ニ後者ハ已ニ皮膚ヲ乾燥セシメ病

變ヲ緩解シ炎症ヲ緩和ナラシムル作用ヲ有スレバナリ。

處方 (らつさー氏坭膏)

酸化亞鉛

澱粉

華攝林

「ラノリン」

各等量

處方 (うんなー氏亞鉛坭膏)

酸化亞鉛

一〇〇

無水硅酸

二〇

安息香酸豚脂

二八〇

軟膏「ムル」Salbenmull (Unna.) 分泌物ヲ透サハルガ故ニ皮膚ヲ刺戟

シ軟化セシムルヲ以テ急性ノ場合ニハ用ヒラレズ。

硬膏 Pfaster. 急性症ニハ絶對的ニ用ユ可ラズ、之レ角質層ヲ軟化シ分

泌物ヲ鬱滯セシムレバナリ、加之慢性ノ場合ニモ表皮ヲ軟化セシムル作用

アレバ多クハ用ヒラレズ、只角質層ノ肥厚セル時ニハ軟化セシムル爲メニ

用ヒラル、モ、コノ目的ニハ「ザリチール」酸或ハ「ザリチール」酸石鹼軟膏 Sal-

icylod Salicylseifen-pfaster ヲ用ユルヲ可トス。

硬膏

軟膏「ムル」

第四 繙帶材料並ニ其ノ方法

之レモ亦「エクチエーム」ノ治療ニ大ナル效果ヲ與フルモノナリ、一般ニ柔軟鬆粗滑澤ナルモノヲヨシトシ、消毒劑ヲ次有セルモノハ用ユ可ラズ。凡テ藥品ハ空氣ノ遮斷ニヨリテ其效力ヲ増シ強ク皮膚ニ作用スルモノナレバ、空氣ヲ透サバル材料ヲ用ユルニ際シテハ常ニ茲ニ注意スベシ。

「リント」
脱脂綿

「リント」Lint. 軟膏ヲ用ユル際ニ最モヨク用キラル、然レドモ「リント」ヲ用ユルバ其ノ部ヲ清潔ニ保ツノ益アレドモ分泌物ノ滲透ヲ困難ナラシムルノ損アリ、故ニ急性水疱性症並ニ濕潤症ニハ用ユ可カラズ。

護謄紙
油紙

脱脂綿 ハ濕布ヲ要スル「エクチエーム」ニハ可ナレドモ軟膏ヲ用ユル時ニハ宜シカラズ。
護謄紙並ニ油紙 ハ全ク水分ヲ透サバル物質ニシテ「エクチエーム」ノ時ニハ蒸罨法ノ際ニ急性症ニ用ヒラレ慢性遲鈍性症ニハ痲皮ヲ軟化セシメ又ハ角質層ノ軟化ヲ要スル時ノミ用ヒラル、モノトス。

第五 「エクチエーム」治療藥

一 表皮形成藥 Keratoplastische Mittel.

表在性表皮層 Oberflächliche Epidermisschicht 殊ニ角質層ノ再生ヲ催進スルモノナリ、分テ三種トス。

- 一、分泌物ヲ吸收シ或ハ分泌機能ヲ減退セシメテ乾燥ヲ促ス藥品。
- 二、收斂作用ヲ有シ皮膚血管ヲ收縮セシムル凡テノ藥品。
- 三、皮膚血管ヲ收斂セシメ其ノ部ノ貧血ヲ誘起スル藥品。

一、分泌物ヲ吸收シ又ハ分泌機能ヲ減退セシメテ乾燥ヲ促ス藥品。

酸化亞鉛
澱粉
炭酸「マグネシウム」
滑石
石松子

主ナルモノハ酸化亞鉛 澱粉 炭酸「マグネシウム」 滑石 石松子ナリ、之レ等ハ撒劑トシ、或ハ震盪合劑トシテ急性水疱性並ニ濕潤性「エクチエーム」ニ用ヒラレ。猶ホ酸化亞鉛ハ病變ヲ緩解スル作用アルヲ以テ一〇％ニ軟膏並ニ坭膏ニ好ンデ加ヘラル。

二、收斂作用ヲ有シ皮膚血管ヲ收斂セシムル凡テノ藥品。

一般療法

醋酸礬土

一般療法

二八

一、醋酸礬土 Aluminium aceticum. 主要ナルモノニシテ單ニ二%ノ醋酸礬土水トシ或ハ之レニ三%ノ硼酸水ヲ等量ニ加ヘ急性、エクチエームニ用ヒラル。硼酸水、礬土水ハ蒸餾水ニテ作ル可シ、硼酸ヲ加フレバ腐敗ヲ防グ事ヲ得。

鉛糖

二、鉛糖水 亦同様ニ用ヒラレ又一〇%ニ軟膏ニ加ヘラル。

「レソルチー
ン」

三、レゾルチーン 〇五乃至一〇% モ亦屢用ヒラル。

檫皮煎

四、一〇%檫皮煎 小兒ニ殊ニ收斂劑トシテ濕性亞急性竝ニ慢性

「エクチエーム」ニ好ンデ用ヒラル、コノモノハ又浴トシテモ殊ニ小兒ノ濕爛性、エクチエームニ用ヒラル。

五、蒼鉛製劑

蒼鉛製劑
次硝酸蒼鉛

次硝酸蒼鉛 Bismuthum subnitricum

「デルマトール」 Dermatol

「キセロホルム」 Xeroform

不溶性收斂劑トシテ用キラル、四乃至九倍ノ滑石或ハ酸化亞鉛ト混シテ濕爛竝ニ濕潤性、エクチエームニ用ヒラレ、或ハ一〇%ニ軟膏竝ニ坭劑ニ

「タンノホルム」

加ヘラル、然レドモ沃度ヲ含有セル蒼鉛劑ハ刺戟スル故用ユベカラズ。

六、「タンノフォルム」 Tannoform. 水疱性濕潤症ニ好ンデ用ヒラル、之

レ輕度ニシテ緩徐ナレドモ皮膚ヲ糝化 (Seben) シ乾燥セシムル作用アレバナリ、「タンノフォルム」ニ滑石三ノ比ニ混和シテ撒布料トシ、坭膏ニハ一〇乃至二〇%ノ比ニ混シ時ニハ同様ノ比ニ軟膏ニ加ユ。

七、「タンニン」 Tannin. 一〇%アルコホルム又ハ「グリセリン」溶液トシテ用キラル。

三、皮膚ノ血管ヲ收縮セシメ其部ノ貧血ヲ誘起スル藥品。

上記ノモノハ皆コノ作用ヲ併有スレドモ之レニ屬スル主ナルモノハ。

一、「アンモニウム」 Tannol ammonium. ハ急性竝

ニ亞急性症ニハ非常ニヨキモノニシテ炎衝ヲ緩解シ搔痒ヲ減退セシム、殊ニ宜シキハ二乃至一〇%ノ「ツメノール」坭膏ナリトス。

處方

「ツメノール」 二〇——五〇

酸化亞鉛 二五〇

一般療法

二九

「アンモニウム」

一般療法

「オレノール」油

五〇〇

三〇

處方

「ツメノール」

五〇

酒精

「エーテル」

「グリセリン」

各一五〇

處方

「アンモニウム、ツメノール」一〇——五〇

肝油

一〇〇

ら、さー氏或ハ「ミチオン」坭膏ヲ加へ五〇〇トス。

外用

「イヒチオール」

「テール」製劑

一、「イヒチオール」 Ichthyol. 時ニ「エグチエーム」ヲ増悪スレバ稠度ノ稀薄ナルモノ即チ半乃至二%ノ坭膏ヲ用ユ可シ其レ以上ハ不可ナリ。

二、「テール」製劑 Teerpräparate. 「テール」ヲ「エグチエーム」部ニ用ユレバ

其部ノ血液注入量ヲ減シ血管ヲ縮小シ潮紅ヲ消褪シ炎衝ヲ輕減スルヲ以テ鱗屑形成 Schuppenbildung ヲ減少セシメ皮膚ハ蒼白滑澤トナリ、多少脆弱トナレドモ患者ハ痒癢ノ減退ニヨリ(他ニ代用品ナキ程爽快ヲ減ズ。猶ホ「テール」ハ再發ヲ防止スルノ效アルヲ以テ慢性症ニハ全症狀ノ消退セシ後モ猶ホ數週間持續セラル可キモノトス。故ニ「テール」療法ヲ施スモ障礙ナキニ至リテ初メテ濕疹ハ治癒セシモノト見テ可也。

注意一 但シ「テール」ノ作用ハ緩徐ナルノミナラズ時ニ「テール」ニヨリ「エグチエーム」ヲ増悪スル事アリ。

注意二 上記スルガ如ク「テール」ハ急性症狀ノ消退後ニ初メテ用ヒラル可キモノナレドモ急性症狀ノ消退セシカ否カヲ定ムル事ハ非常ニ困難ナレバ寧ロ其ノ使用ヲ延期スルカ或ハ周到ナル觀察ノ下ニ稠度ノ稀薄ナル緩和坭膏ヲ試用シ漸次其ノ稠度ヲ増スベキモノトス。

注意三 猶ホ「テール」ハ急性増悪ノ傾向ヲ有セル凡テノ「エグチエーム」膿疱疹様機轉ヲ有スル「エグチエーム」竝ニ膿疱疹様機轉ニ關シテ存在セル部分ニハ如何ナル形状ヲ以テスルモ決シテ用ユ可ラズ之レ「テール」ハ之等ノ炎衝ヲ促進スレバナリ。

注意四 又蛋白尿ノ時ニモ用ユ可ラズ。

一般療法

一般療法

シムルヲ得ベシ。一乃至一〇%硫黄軟膏及ビ坭膏トシテ用キ尙硫黄浴トシテ用キラル。

處方

沈降硫黄

一—五〇

炭酸加里

一—五〇

「フゼリン」

五〇〇

處方

硫黄華

四〇

亞鉛華

六〇

安息香酸豚脂

三〇〇

處方

硫黄華

四〇〇

炭酸加里

一〇〇

豚脂

阿列布油

等量二〇〇

「レゾルチン」

餽水

一〇〇

「レゾルチン」 Resorzin. 炎衝性ノ症ニハ用キザルヲ可トス。凡テ「レゾルチン」ハ稀薄ナルモノヲ用ユベシ。水疱性竝ニ濕潤性急性症ニハ二分一乃至一%「レゾルチン」溶液ニテ冷滌法ヲ施シ屢卓效アリ。即發赤ヲ去リ角質形成 Überhorung ヲ催進ス。脂漏制止劑トシテハ一乃至五%ノ軟膏竝ニ坭膏ヲ用ユ。コトニ寧ロ慢性ノ者ニ用ユベキモノトシ時ニハ硫黄ト混シ用ユ。何レノ場合ニテモコレ以上ノ濃度ハ皮膚ヲ害フモノナレバ用ユベカラズ。尙「レゾルチン」ニ對シテハ特异性ヲ有スルモノアルコトヲ忘ルベカラズ。

白降汞

白降汞 Hydrargyrum praecipitatum album. 黃降汞 Hydrargyrum

oxydatum flavum. モ亦脂漏制止劑トシテ用キラル、モソノ他ノ「エタ

チエーム」ニハ水銀劑ハ却テ害アルモノトス、一乃至五%ノ軟膏トシテ用ユ但シ眼險ノ脂漏性「エタチエーム」ニハ一%ノモノヲ用ユベシ。

「レニガロール」

「レニガロール」 Lenigallol. 三乃至一〇%坭膏トシテ用ユ。輕度ノ腐

他作用ヲ有ス。故ニ若シ水疱性症ニ之レヲ用ユレバ遊離サレタル焦性沒食子酸 Pyrogallussäure ニヨリテ小ナル乾性黒色ノ痂皮ヲ作り、痂皮ヲ去ルモ分

一般療法

一般療法

泌セザルニ至ルコトアリ。然レドモ急性水泡形成性症ニハ用ユベカラズ。尚コレヲ用キ痂皮ヲ形成セバ、即用後二乃至四日ニ至レバ他ノ無力性藥品ト交代セシムベシ。

處方

「レニガロール」 一—四〇

酸化亞鉛

澱粉

「フゼリン」

單軟膏

等量一〇〇

硝酸銀

硝酸銀 Argentum nitricum. 濕潤性症ニ二乃至一〇%水溶液トシテ用

キラルアルコール溶液(二乃至三%)トセバ效果大ナリトス、コレヲ用ユレバソノ乾燥ヲ待チテ軟膏或ハ泥膏ヲ塗擦スベシ。硝酸銀棒ハ腐蝕作用強ケレバ用ユベカラズ。

「イヒチカール」 Ichthyol.

「チラール」 Thiol.

「イヒチカール」
「チラール」

「チチノール」

「チチノール」 Thionol.

「チゲノール」

「チゲノール」 Thigenol.

「クリザロビン」

「クリザロビン」 Chrysoarobin.

焦性没食子酸

焦性没食子酸 Pyrogallussäure.

以上ハ時ニ遲鈍性落屑性ニシテ頑強ナルモノニ用キラル。

三 表皮剝離劑 Keratolyticum.

表皮ノ肥厚セル時ニ用キラル

「サリチール」 酸石鹼硬膏 五乃至一〇% 角質ヲ變化シテ白色柔軟物トス

「サリチール」 酸軟膏或ハ泥膏 〇五乃至二% 角質ヲ形成スルノ作用アリ。急

性「イクチエーム」ニ用キラル。

「サリチール」 酸軟膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

「サリチール」 酸泥膏

一般療法

四 瘡痒緩解劑

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 「アンモニウム」
「ムンメル」
「テル」製劑 | 「アンモニウム」
「ムンメル」
「テル」製劑 |
| 薄荷 | 薄荷 |
| 石炭酸 | 石炭酸 |
| 樟腦 | 樟腦 |
| 抱水「クロラール」 | 抱水「クロラール」 |
| 「プロモロン」 | 「プロモロン」
「Promocoll」 |
| 「オレイホリン」 | 「オレイホリン」
「Orthoform」 |
| 「アキメタミン」 | 「アキメタミン」
「Analgesin」 |
| 「ロカイン」 | 「ロカイン」
「Kocain」 |
| 「オイカイン」 | 「オイカイン」
「Eukain」 |
| 「エンデルモール」 | 「エンデルモール」
「Endermor」 |
| 「ピリレン」 | 「ピリレン」
「Pillylen」 |
| 「エンピロロン」 | 「エンピロロン」
「Empyroform」 |

第六章 濕疹ノ各病型ニ對スル療法

第一 急性紅斑性「エクターム」

先ヅ對炎症療法ヲ講ジ其成熟スルヲ糜爛性トナルヲ防グガ爲メニ冷濕布ヲ施スヲ最モヨシトスニ%醋酸礬土水、鉛糖水、或ハ五〇乃至一%「レゾルチン」溶液、或ハ二%醋酸礬土水、ト三%硼酸水トノ等量ヲ混ジタルモノヲ用フ。最後ノ二者ヲコトニヨシトスレドモ「レゾルチン」ニ對シテハ特異質ヲ有スルモノアレバ注意スベシ。濕布ハ一日三回一二時間宛施シ其間隔時ニハ屢酸化亞鉛滑石、澱粉、炭酸、マグネシヤノ合劑等ヲ撒布スベシ。炎症甚シカラズ、且施スヲ得バ濕布ニ代ユルニ蒸巻法ヲ以テシニ乃至三時間毎ニ交換スベシ。實地ニハ撒劑ヲ震盪合劑トシテ用フルヲ最モヨシトス、即一日一二回塗布スベシ。コトニ疾患ノ部位廣クシテ濕布ヲ施シ難キ時ニ適ス。凡テ脂肪劑ハ急性症狀ノ消退セシ後始メテ拂拭茲ニ皮膚弛緩ニ用ヒラルモノトス。用ヒラルベキモノハ甘扁桃油、肝油、胡麻油トス。軟膏竝ニ坭膏ハ病變ノ緩解セシ後ニ用ヒラル、コトニ催乾性坭膏例ヘバー〇%ノ亞鉛「ミチン」竝ニ「ミチ

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

「ラッサー氏軟膏」ヲヨシトス。

ラッサー氏軟膏

處方 (ラッサー氏軟膏)

酸化亞鉛

澱粉

「ワゼリン」

「ラノリン」

等量五〇

外用

處方 (うゐるぞん氏亞鉛軟膏)

酸化亞鉛

安息香酸豚脂

二〇〇

八〇〇

外用

處方

酸化亞鉛

阿列布油

等量一〇〇

若シ痒痒甚シケレバニ乃至一〇%ニツメノールヲ加フベシ。

處方

「アンモニウムツメノール」 〇・四—二〇

胡麻油

二〇

「ミチン」坭膏ヲ加ヘ二〇〇トス

處方

「アンモニウムツメノール」 〇・四—一〇

酸化亞鉛

二〇

胡麻油

三〇

「ミチン」ヲ加ヘ二〇〇トス

但シ「ツメノール」坭膏ハ灰白色ナル故顔面ニハ「タンノフォルム」坭膏五乃至一〇%ヲ用フルモヨシ。

コレヲ要スルニ紅斑性「エクチーム」ニハ冷褌法撒布劑或ハ震盪合劑ヲ最良トシ軟膏竝ニ坭膏ハ最後ニ用フベシ尙急性或ハ亞急性期ニテハ脂肪ニ耐ヘザルノミナラズ緩和ナル坭膏ニモ耐ヘザル「エクチーム」アレバ注意スベシソノ他ノ藥品ハコノ際用ヒラル、コト稀ナリ。

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

慢性紅斑性「エクチエーム」ハ落屑性「エクチエーム」ノ如ク處置スベシ。

第二 丘疹性「エクチエーム」

紅斑性「エクチエーム」ノ滲出ノ稍充進シタルモノニ過ギザレバ同療法ニテ可ナリ。若シ「ワゼリン」ヲ含有セル塗擦劑ニテ刺戟症狀誘發サルレバ「ワゼリン」ニ代ユルニ「ザポラン」 Sapolan ヲ用ユヘシ。

「ザポラン」

處方

「ザポラン」

亞鉛華

四〇〇

外用

處方

「ザポラン」

亞鉛華

三〇〇

鉛糖水

二〇〇

外用

五〇〇

第三 急性小水泡性「エクチエーム」

治療ノ主眼

治療ノ主眼ハ水泡ヲ乾燥セシメ其破壊ニヨリテ糜爛面ノ生ズルヲ防グニアリ。即チ凡テノ器械的障礙及ビ皮膚ノ軟化ヲ防グベシ。最モ簡單ナルハ撒布或ハ震盪合劑ヲ用フルニアリ。シカレドモ奏效ヲ必シ難シ。コレ反テ滲出物ヲ滯溜セシメ炎症ヲ増進セシムルコトアレバナリ。故ニコノ際ニモ炎症甚シケレバ紅斑性「エクチエーム」ノ條下ニテ述ベシ收斂性水劑ヲ以テ濕布ヲ施スベシ。皮膚ハ蒼白トナリ、ヨク水泡ノ新生ヲ防グコトヲ得ベシ。然レドモコレモ亦時ニ皮膚ヲ軟化スルコトアリ。注意ヲ要ス。若シ皮膚軟化ノ傾向アレバ速ニ濕布ヲ中止シ撒布スベシ。凡テ脂肪劑コトニ稀薄ナル軟膏使用ハ注意ヲ要ス。是レ空氣ヲ遮斷シ分泌物ヲ鬱滯セシメ表皮ヲ軟化セシムレバナリ。散劑ヲ含有セル脂肪類例バ亞鉛軟膏竝ニ坭膏ハ乾燥竝ニ保護作用ヲ有スルヲ以テヨク用ヒラル。

處方 (ヘーラ氏軟膏)

單鉛軟膏

ヘーラ氏軟膏

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

阿列布油

等量

外用

コレヲ用フレバ重テ滑石末ヲ撒布スベシ。若シカクノ如クシテ厚キ痂皮ヲ生ジ除去ヲ要スレバ、甘扁桃油或ハ偏陳ヲ以テ靜ニ拂拭スルカ或ハ蒸器法ヲナシテ除去スベシ。コノ期ニ坭膏ニ混ジウルハ「アンモニウムツメノール」(二乃至一〇%)、「イヒチオール」(五〇乃至一%)、「チゲノール」(五乃至一〇%)、次硝酸蒼鉛(一〇%)、「キセロフォルム」(一〇%)、「タンノフォルム」(一〇%)ナリトス。

處方

「タンノフォルム」

二〇

坭膏

二〇〇

コノ際禁ズベキモノハ「サリチール酸硫黄坭膏」テール製劑ニシテ「サリチール酸」ハ稀薄ナルモノヲ用フルモ表皮ヲ破壊スル恐レアレバ不可ナリトス。尙凡テノ脂肪類ニモ注意スベシ。

慢性「エリチエーム」ノ増悪ニヨリ水泡形成ヲ來タセル際ニモ同様ニ撒布濕布能乾性坭膏ヲ處方スベシ。コレニヨリテ奏效セズ幸ニ屢診察スルヲ得バ、輕度ノ腐蝕藥即チ「一〇乃至二

うるきんぞん氏膏

〇%「レニカロール」坭膏、及ビ「うるきんぞん氏軟膏」 Wilkinson'sche Salbe ナ用フ。若シ皮膚刺戟セラレバ直チニ中止シ「タンノフォルム」並ニ「ツメノール」ヲ含有セル坭膏ヲ用フベシ。

處方 (うるきんぞん氏膏)

樺木「テール」

硫黃

等量二〇〇

綠石鹼

等量四〇〇

「フゼリン」

胡粉 (Creta)

外用

第四 糜爛性「エクチーム」

治療ノ眼目ハ乾燥セシメ角質層ノ再生ヲ促スニアリ。撒布療法費用セラル滲出物ヲ吸收シ且ソノ部ヲ保護スルニアリ、然レドモ滲出機能旺盛ナル時ハ爲ニ滲出物ノ鬱滯ヲ招來シ從フテ本病ヲ増悪セシメ奏效セザルコトアリ、故ニ先ヅ撒布療法ヲ行ヒ效ナケレバ、收斂療法ヲ施

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

スベシ。尙ホ效ヲ見ザルトキハ腐蝕療法ヲ講ズベシ。收斂性撒布藥(例ヘバ「タ
 ンノフォルム」一滑石)ヲ撒布シ浸出ノ消退スル迄疾患部ヲ脫脂綿ニテ壓迫
 スベシ。時ニハ蒼鉛劑ヲ用ヒ奏效スルコトアレドモコノ時ニモ同ジク壓迫
 綑帶ヲナスベシ。之レヲ要スルニ壓迫ハ濕潤性、エクチエームニ非常ナル價値
 ヲ有スルモノニシテ、コレニヨリ浸出ハ減少スルモノトス。若シ收斂性撒布
 劑ニテ奏效セザレバ、收斂性溶液ヲ用ヒ蒸罨法ヲ施ス可シ。コトニ一〇%ノ
 櫛皮煎ヲヨシトス。コレニヨリ濕潤消退スレバ撒布劑或ハ坭膏療法ヲナス
 ベシ。シカレドモ若シ收斂性溶液ニテ尙奏效セザレバ輕度ノ腐蝕療法ヲ講
 ズベシ。即先ヅ偏陳ヲ以テ疾患部ヲ清潔ニシ乾性脫脂綿ニテ數分間ソノ部
 ヲ壓シ、次デ二乃至一〇%ノ硝酸銀水ヲ塗布スベシ。但時ニコノ腐蝕ニヨリ
 滲出ノ一時増加スルコトアレドモ灰白色痂皮ノ形成ヲ待チ「タンノフォルム」
 撒劑ヲ撒布シ、再ビ脫脂綿ニテ壓迫ス可シ。コレニヨリ持續性ニ乾燥セシム
 ルヲ得バ次テ「タンノフォルム」坭膏ヲ塗擦シ換氣性布片ニテ蔽フベシ。モシ亦
 硝酸銀ヲ用フルモ奏效セザレバ同法ヲ二十四時間毎ニ反覆スベシ。其他「
 いるきんぞん氏軟膏」及「レニガロール」モ腐蝕劑トシテ用ヒラレザルニアラ

ザルモ其使用ハ常ニ炎衝症狀ヲ缺除セル遲鈍性ノモノニノミ止ムベシ。一
 般ニ濕潤性、エクチエームニハ軟骨ハ用ヒラレザルモ坭膏ハ分泌物ノ漏出ヲ
 許シ乾燥セシムル作用アルヲ以テ用ヒラル、コトアリ。即滲出機能ノ甚シ
 カラザル際ニハ一〇%ノ「タンノフォルム」ミチン坭膏等ヲ用フルガ如シ。コレ
 ニ反シ皮膚乾燥シ充血ノ消退セル時ハ主トシテ軟膏竝ニ坭膏ヲ用フベシ。
 慢性濕潤性「エクチエーム」ハ急性濕潤性「エクチエーム」ノ時ノ如ク處置シ乾燥ヲ
 促スベシ。若シ奏效セザレバ硝酸銀ニテ腐蝕シ尙奏效セザレバ「テール」硫黃
 軟膏ヲ試ムベシ。

處方

- 樟木「テール」
- 硫黃華
- 加里石鹼
- 白堊 (Creta alba)
- 「ワゼリン」
- 等量 一〇〇
- 五〇
- 三〇〇

コノモノハ腐蝕シ皮膚ヲ乾燥滑澤ナラシム、コレヲ用フルニ際シテハンソノ

頑強ノ度ニ從ヒ朝夕二回四乃至八日間用ヒ其期間ハ皮膚ヲ洗滌又ハ清拭スルコトヲ止メ次デ「ツメノール」竝ニ「イヒチオール」ヲ含有セル緩和ナル泥膏ヲ用ヒ次デ數日ノ後ニ皮膚ヲ清潔ニシソノ結果ニヨリ「テール」硫黃石鹼軟膏ヲ反覆スルモノトス但毎日診察シ得ル場合ニ限り用ヒラルベキ方法ニシテ若シ刺戟スルノ微アレバ直ニ休止シ幸ニコレニヨリ乾燥セシムルヲ得バ五〇%ノ「サリチール」酸軟膏竝ニ一乃至三%ノ硫黃軟膏ヲ塗擦シ皮膚ノ脆弱トナルヲ防グベシ

第五 結痂性「エクチエーム」

濕潤性「エクチエーム」ノ一種ニシテコトニ毛髮部ニ頻發ス痂皮ヲ去リ濕潤面トナシ處置スベシ痂皮ノ固著セル時ニハ蒸罨法或ハ甘扁桃油等ヲ用ヒ除去スベシ規定ノ處置ニヨリ濕潤期著シク消退スレバ主トシテ鉛糖五〇%「ミチン」四五〇ヲ加ヘタルモノ或ハ一〇%亞鉛「ミチン」軟膏ヲ用ヒ潮紅甚シクレバ「イヒチオール」泥膏或ハ「ツメノール」ヲ含有セル「イヒチオール」泥膏ヲ用フ

處方

- 「ツメノール」 二五
- 「イヒチオール」 一〇
- 肝油 一〇
- 「ミチン」泥膏ヲ加ヘ 五〇〇

處方

- 「ツメノール」 二五
- 「デゲノール」 五〇
- 「ミチン」泥膏ヲ加ヘ 五〇〇

若シ再生セシ表皮薄弱ナレバ一〇%ノ「タンノフォルム」「ミチン」泥膏ヲ用フルヲ可トス

第六 膿疱疹様「エクチエーム」

コレ●球●菌●ノ●混●合●傳●染●ニ●ヨ●ル●モ●ノ●ナ●リ●コ●ノ●際●ニ●ハ●化●膿●竈●ノ●被●膜●ヲ●去●リ●其●基●底●ヲ●消●毒●ス●ル●藥●品●ヲ●ヨ●シ●ト●ス●即●二●%●ノ●醋●酸●礬●土●水●ニ●三●%●硼●酸●水●ヲ●等●量●ニ●

加ヘタルモノ、或ハ五〇%ノアルコホールニテ蒸罨法ヲ行ヒ、二乃至四時間
毎ニ交換シ、化膿ノ消失スル迄持長シ次デ硼酸ヲ含有セル坭膏ヲ用フ。

處方

硼酸

五〇

「ミチン」坭膏

四五〇

若シ疾患部廣クシテ蒸罨法ヲ施シ得ザレバ五〇%ノアルコホールニテ摩
擦シ化膿竈ノ被膜ヲ去リ、基底ヲ清潔ニシ、キセロフォルム或ハタンノフォル
ムヲ撒布シ坭膏ヲ塗擦スベシ。コノ際アルコホール或ハ偏陳ニテ規則正シ
ク其部ヲ拂拭スルハ大ニ必要ナリ。

第七 落屑性「エクチューム」

「エクチューム」症ノ末期ナルコトアリ、或ハ始メヨリ此病型ニテ現ハレ、甚ダ慢
性ナル經過ヲトルコトアリ、後者ニテハ強烈ナル療法ヲ講ズルモ可ナレド
モ、前者ハ注意シテ處置スルヲ要ス。先ヅ内療法ヲ講ジ、次テ外療法ニ務ムベ
シ。内療法トシテハ若シ特別ナル内因ナクンバ先ヅ亞砒酸硫酸「イヒチオー

ルヲ與フベシ。外療法ニテハ石鹼竝ニ常水ヲ以テ處置シ屢奏效スルコトア
リ、然レドモ急性濕潤性症ヨリ來レル落屑性症ニシテ、増悪ノ恐レアルモノ
ニハ注意スベク、コレニ反シテ慢性遲鈍性ナルモノニハ加里石鹼竝ニ熱キ
湯ヲ用ユルモ可ナリ。治療劑ノ主ナルモノハ「テール」劑ニシテ、瘙癢ヲ止ムル
ノ效アレバ大ニ可ナリ。樺木「テール」、杜松木「テール」、石炭「テール」ヲ最良トス。ソ
ノ用法ハ皮膚ノ状態コトニソノ感應力ノ度ニヨリテ一様ナラザレドモ最
モ緩和ナルモノハ「テール」「ミチン」坭膏ナリトス。皮膚刺戟性ナラバ一%ノモ
ノヨリ始ジメ漸次ニソノ稠度ヲ増加スベシ。坭膏ニ亞グモノヲ一乃至一〇
%「テール」「ミチン」坭膏トス、コレハ乾燥セル脆弱ナル皮膚ニハ坭膏ヨリモ效
果大ナルモノトス、以上兩者ヨリモ強力ナルモノハ「テール」丁幾ニシテ例ヘ
バ

處方

樺木「テール」

杜松木「テール」

酒精

「エーテル」

等量一〇〇

處方

木「テール」

二——五〇

酸化亞鉛

等量一二〇

澱粉

「ワゼリン」

五〇〇

處方

木「テール」

五〇

加里石鹼

五〇

安息香酸豚脂

五〇〇

ヲ塗り後緩和ナル坭膏ヲ用ユ。時ニ「テール」溶ヲ施スモ可ナリ。表皮剝離劑例
ヘバ「サリチル」酸五乃至一〇%並ニ石鹼一〇乃至三〇%ヲ加フレバ尙「テール」ノ作用ヲ強盛ナラシムルヲ得ベシ。乾燥セル掻痒性顔面「エクサチエーム」(哺乳
兒)ニ甚ダヨキハ「ピロガロール」ナリ。

處方

「ピロガロール」

〇.一——〇.二

牛酪軟膏

二〇〇

尙、白降汞一乃至五%並ニ黃降汞二分ノ一乃至一%モ亦ヨシ。

處方

「テール」

硫黃華

加里石鹼

等量一〇〇

白降汞

五〇

「ワゼリン」

三〇〇

乾性慢性「エクサチエーム」ノ全ク頑強ナルモノハ「テール」硫黃石鹼軟膏ヲ用ユベシ。

「テール」ヲ用ユルニ際シテハ皮膚刺戟サル、カ或ハ化膿瘡ヲ生ズルヤ否ヤニ注意スベク、
コレアレンバ直チニ休止スベシ。尙コノコトナシトスルモ皮膚乾燥シ脆弱トナリ龜裂ヲ生
ズレバ休止スベシ。而シテ亞鉛軟膏「ツメノール」軟膏等ヲ用ヒ皮膚滑澤トナラバ再ビ「テール」ヲ始ムベシ。

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

皮膚ノ濕潤ニヨリ肥厚セル落屑性症ニハうるきんぞん氏軟膏ヲ大ニヨシトス。即一日一回又ハ二回清潔ニナシタル皮膚ニ塗擦スルコト約一週ニシテ水疱ヲ形成スルニ至レバ直チニ休止シ、催乾性坭膏例ヘバ「タンノフォルム」ニ「ミチン」坭膏ヲ用ユ。若シコレニヨリ奏效セザレバ此法ヲ反覆スベシ。

處方 (うるきんぞん氏) テール 硫黃石鹼軟膏

石炭、テール、油或ハ木、テール

硫黃華

等量一〇〇

加里石鹼

「ミチン」或ハ「ワゼリン」

等量二〇〇

樺木、テール、杜松木、テール、モ同様ニ用キラル、モ石炭、テール、油、木、テールヲ最モヨシトス。

硫黃ハ亞急性竝ニ慢性脂漏性、エク、チエームニハ非常ニヨク、殆ンド特效藥ナリ。シカシ甚シク特異質アルヲ以テ稠度ニ注意シ、機轉ノ急性ニ近ク且皮膚ノ鋭敏ナル程%ヲ少ナクスベシ。坭膏ニ混ジ用ユルヲ可トス。硫黃ハ沈降硫黃ヲ最モヨシトス。即チ一乃至一〇%トス。尙硫黃ハ皮膚ヲ粗糙脆弱トナス

ヲ以テ適當ノ時期ニハ緩和ナル脂肪ヲ用ユベシ。モシ硫黃ニ耐ヘザル時ハ硫黃ヲ含メル「イヒチオール」チゲノールヲ用ユベシ。

「レゾルチン」モ亦硫黃ノ如ク奏效スベシ。コレハ還元スル作用アルヲ以テ皮脂漏ニハ非常ニヨシ。即チ落屑性脂漏性、エク、チエームニシテ皮膚刺戟ナキ時ニ費用セラル。然レドモ亦特異質アレバ稠度ニ注意スベシ。ヨク耐ユレバ皮膚ノ平滑トナル迄用ユベシ。

第八 輕症脂漏性落屑性「エクチエーム」

白降汞及黃降汞ヲ用ヒ著シク奏效スルコトアリ。前者ハ一〇%トシテコトニ顔面竝ニ頭部ニ用キラル。眼瞼ニハ一%トシテ用ヒラル。重症脂漏性「エクチエーム」ニシテ硫黃ニテ奏效セザル時ハ一乃至五%クリザロピン軟膏竝ニ其坭膏ヲ一日二回用ヒ。次デ「ミチン」坭膏ニテ後療法ヲナスベシ。但周圍ノ皮膚潮紅シ始ムレバ休止スベシ。若シ「テール」療法竝ニうるきんぞん氏軟膏ヲ用フルモ奏效セザレバ、五千倍ノ加里滿汁水ニテ濕布ヲナシ。次デ撒布竝ニ坭膏ヲ用フベシ。

ニシ「リスリン」溶液ヲヨシトシ、尙時ニ純粹「ラレーフ油」九九〇加「サリチル酸」一〇或ハ安息香酸一〇ヲ用フ。カクノ如クシテ全ク分泌物竝ニ排泄物ヲ除去スレバ上記ノ散劑ヲ撒布スルモノトス。時ニ散劑ニ硼酸(一〇%)、次硝酸蒼鉛(二〇%)、デルマトール(二〇%)、キセロフォルム(二〇%)、タンニン(一〇%)、タンノフォルム(一〇%)ヲ加フルコトアリ、但人ニヨリ特異質アレバ注意スベシ、簡ニシテ屢卓效アルハ一〇乃至三〇%ノ「タンノフォルム」滑石ナリ。

重症ニハ入浴ハ禁ズ、ベキモ擲皮(一〇〇〇)過マンガン酸加里(一〇)、昇汞〇・二五ヲ加フレバ入浴セシメ得ベシ。

上記ノ方法ヲ講ズルモ奏效セザレバ泥膏コトニ「らっさ」氏泥膏竝ニ「イヒチオール」(四分ノ一乃至二分ノ一%)、「タンノフォルム」(五乃至一〇%)、硼酸(五乃至一〇%)、「サリチル酸」(二分ノ一%)ヲ加ヘタルモノヲ用フ。

處方

「イヒチオール」 〇・一——〇・二

酸化亞鉛

澱粉

「ワゼリン」

「ラノリン」

處方

「タンノフォルム」 二〇——四〇

酸化亞鉛

澱粉

等量八〇——九〇

「ワゼリン」

「ラノリン」

處方

等量一〇〇

「サリチール酸」

酸化亞鉛

阿列布油

處方

「イヒチオール」 〇・一——〇・二

酸化亞鉛

濕疹ノ各病型ニ對スル療法

澱粉

「ワゼリン」

單軟膏

等量一〇〇

以上ノ方法ヲ講ズルモ尙奏效セザレバ偏陳ニテ一日一回清拭シ次デ硝酸銀水(二乃至一〇%)或ハ硝酸銀アルコホル溶液(二乃至三%)ヲ塗布シ乾燥スルヲ待チ撒布並ニ泥膏ヲ塗擦スベシ。勤メテ皮膚ノ接觸ヲ防ギ肛圍並ニ肛股部ノ者ニテハ丁字綑帶ヲ施スベシ。若シ潰瘍並ニ壞疽様病變ヲ生ズレバ適當ナル外科的療法ヲ講ズベシ。以上ノ療法ハ甚ダ必要ナルモノナレドモ多ク消化障礙ニ因スル者ナレバ内療法即食物並ニ消化ノ整調ニ勤ムベシ。

石鹼ノ使用ニ關スル注意

石鹼ノ使用ニ關スル注意 何レノ種ノ「エクチニウム」タルヲ問ハズ表皮菲薄ニシテ充血腫脹ノ存スル間ハ石鹼ノ使用ハ不可ナリ。然ラバ何レノ時期ヨリ顧慮スルコトナク用ヒラルベキカ之ヲ確定スルハ甚ダ困難ナレドモ要ハ早キニ失スルヨリモ遅キニ失スルヲ可トシ用フルニ際シテハ先ヅ緩和ナル石鹼ヲ擇ビシカモ其使用後ハ泥膏ヲ用フルヲ可トス。尙可ナルハ洗滌水ニ「グリセリン」「リール」ニ二食匙ヲ加フルニアリ。

第七章 特異ナル部位ニ於ケル「エクチニウム」療法

「エクチニウム」療法

「エクチニウム」療法ハ其部位ニヨリ多少趣ヲ異ニセリコレ「エクチニウム」ハソノ部位ニヨリソノ性質形狀並ニ持續期間ヲ異ニスレバナリ。

頭部「エクチニウム」 Kopfekzem 小兒ニ最モ多キモノニシテ濕潤性

結痂性落屑性並ニ膿疱疹様等アレドモコトニ哺乳兒ニ最モ多キハ脂漏性「エクチニウム」ナリトス。毛髮部位ナルガ故ニ好ンデ痂皮ヲ形成シ屢々分泌物溜ヲ來タシ次デ項部耳部並ニ頸部ノ淋巴腺腫大ヲ誘發ス。頭髮ノ長キ時ハ剪去スルヲヨシトス。痂皮ヲ去ルニハ油劑ヲ用ヒ油濕布 Oilschlag ヲ施スカ或ハ蒸罨法偏陳ヲ用フルカ或ハ器械的例ヘバ櫛「ピンセット」ニテ除去ヲ試ムベシ。時ニ急性症狀ヲ呈セザルモノニテハ石鹼洗滌ヲ試ムルモ可ナリ。

處方

綠石鹼 (Sapo viridis) 一〇〇〇

特異ナル部位ニ於ケル「エクチニウム」療法

部頭

酒精

二〇〇〇

「ラヘンデル油」(Oleum Lavandi.)

「ベルガモット油」(Oleum Bergamotti.) 等量三〇

ヲ用ヒ次デ温水ニテ石鹼ヲ除去スベシ。シカノミナラズ頭部「エクチエーム」ニハ其原因ニヨリ強力藥ヲ用フルコトヲ得ベシ。例ヘバ生虱病 Pediculosisノ時ノ如シ。即コノ際ニハ其病變ノ如何ニ拘ラズ昇汞醋酸(1:3000)ヲ用フ。凡テ頭部毛髮部ニ用フル藥劑ハ油劑軟膏或ハ丁幾ノ形ニテ用フルヲ可トス。泥膏ハ只初生兒或ハ禿髮部ニ用フルヲ得ルノミ。之ヲ要スルニ凡テ「エクチエーム」ヲ乾燥セシメ落屑性症ニ變ジ。次デ「テール」製劑ニテソノ落屑ヲ除去スベシ。脂漏性「エクチエーム」ノ輕症ナルモノハ哺乳兒ニテハ存セザルコト稀ナルガ如ク頻發スルノミナラズ。其際ニハ脫毛ヲ來シ或ハ他部ニ於ケル「エクチエーム」ノ起始點トナルモノナレバ。コトニ十分ナル療法ヲ施スベシ。先ヅ偏陳油劑或ハ發赤竝ニ濕潤部ナキ「エクチエーム」ニテハ石鹼ヲ用ヒテ痂皮ヲ去リ。次デ脂漏制止劑ヲ用フベシ。最モヨク用ヒラル、モノハ

處方

沈降硫黃

一〇——二〇

酸化亞鉛

澱粉

ワゼリン

ラノリン

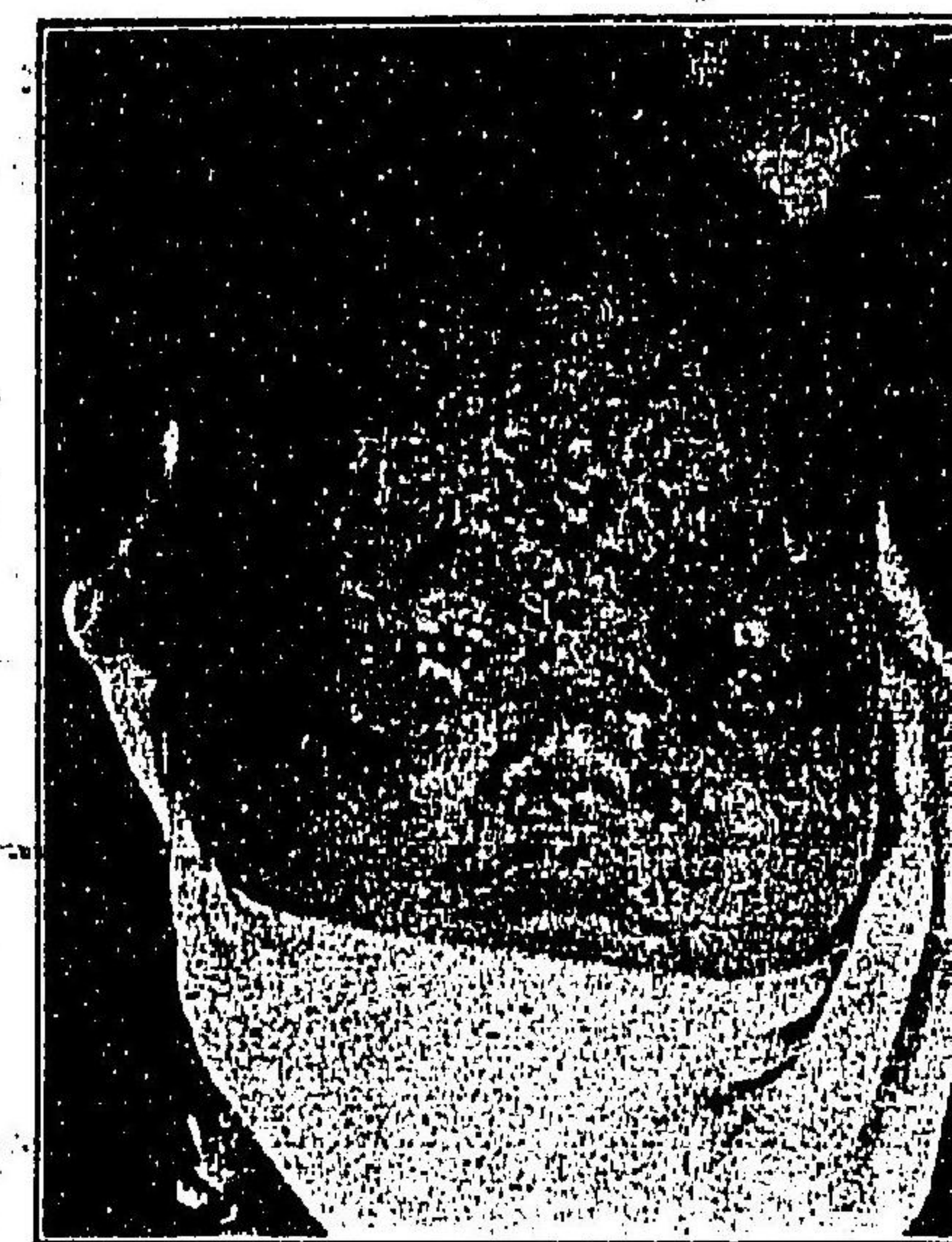
等量五〇

コレヲ朝夕塗擦シ隔日ニソノ感應力ノ度ニヨリ偏陳油劑或ハ石鹼ニテ拂拭スベシ。然レドモ硫黃ハ急性ナルモノニハ用ヒザルヲヨシトシ慢性ノ程度ニヨリテ其%數ヲ增加スルヲ得可シ。尙哺乳兒ニ來ル皮脂漏 Greis ハ脂漏性「エクチエーム」トシテ處置スベシ。即繃帶ヲ施シ搔破ヲ防グヲ可トス。

顔面「エクチエーム」 Gesichtsekzem. 小兒ニ多キモノニシテコトニ初

生兒竝ニ哺乳兒ニテハ頭部ノ脂漏性「エクチエーム」ノコノ部ニ蔓延セルモノ甚ダ多シ。「ニコレヲ酪化」(Milchborke, Crusta lactea) トイフ(第一)尙コノ部ノ「エクチエーム」ニシテ好ンデ皮膚ト粘膜ト接セル部位ニ來ルモノアリ。凡テコノ部ノ「エクチエーム」療法ハ甚ダ困難ナルモノトス。コレ繃帶ヲ施シ難キト癢痒甚シキニヨルナリ。顔面ニテハ一般ニ泥膏之ヲ用キ。撒布セバ繃帶ヲ省クコト

トヲ得ベシヲ最モヨシトシ、時ニ軟膏ヲ用フ。年長ナル小兒ニテハ藥劑ノ色



ニ注意シ勤メテ無色ナルモノヲ擇ブベシ。顔面「エクサチウム」様皮膚ハ頭部ノ皮膚ニ反シ石鹼使用ニ對シ非常ニ鋭敏ナレバ注意スベシ。從ツテ頭部竝ニ顔面「エクサチウム」ヲ存スル時、頭部ニ石鹼ヲ使用セントセバ先ヅ顔面ニ軟膏又ハ泥膏ヲ塗擦シタル後ニスルヲヨントス。凡テ

顔面「エクサチウム」ハ外界ヨリスル刺激ニ對シ、散劑泥劑又ハ軟膏ヲ以テ必ズ庇護スベシ。コトニ哺乳兒ニ頻發スル濕潤性顔面「エクサチウム」ニシテ時ニ撒布竝ニ濕布ニヨリ治療セザルモノニ「タンノフォルム」泥膏又ハ硝酸銀液ヲ用キ卓效ヲ奏スルコトアリ。亦時ニハ急性炎衝症狀ヲ缺除セル濕潤性症ニ「うるきんぞん」氏軟膏ヲ用ヒ奏效スルコトアリ。濕潤竝ニ結痂ヲ有セザル脂漏

性「エクサチウム」ナラバ硫黃竝ニソノ他ノ脂漏制止藥ヲ用ユベシ。然レドモ若シ皮膚鋭敏ナラバ、先ヅ「イヒチオール」泥膏(二%)「チダノール」泥膏(一〇%)ヲ塗リタル後硫黃泥膏(二——一〇%)ヲ用ユベシ。之ニ反シ皮膚遲鈍性ナラバ始メヨリ硫黃ヲ用キ、皮膚脆弱トナレバ次デ亞鉛泥膏ヲ用フベシ。

前額部 Stirn ニテハ毛髮部ニ接セル部ニ來ル脂漏性「エクサチウム」ヲ固有ナリトス。コレ頭上毛髮部ノ脂漏性「エクサチウム」ノ繼續セルモノニシテ殆

ンド常ニ硫黃或ハ白降汞ニヨリ卓效ヲ奏スルヲ見ル。

鼻口 Naseneingang. モ亦屢「エクサチウム」ヲ生ズ。硫黃或ハ白降汞泥膏ヲ硝子棒ニテ塗擦スレバ可ナリ。ユノ際常ニ鼻腔ニ於ケル疾患ノ有無ニ注意スベシ。

上口唇 Oberlippe. ニテモ先ヅ同様ニ處置シ、若シ炎衝性ニシテ發赤滲

潤シ鋭敏ナラバ、硼酸水或ハ〇五%「レゾルチン」水ニテ濕布ヲナシ。ソノ間隔時ニハ泥膏ヲ塗布シ、ソノ病變ノ状態ニヨリテ漸次「タンニン」「タンノフォルム」或ハ硫黃ヲ加フベシ。

處方

特異ナル部位ニ於ケル「エクサチウム」療法

特異ナル部位ニ於ケル「エリチニウム」療法

沈降硫黄

「タンノフォルム」或ハ「タンニン」酸等量二〇

肝油或ハ「らさーる」氏坭膏 二〇〇

ソノ部ノ皮膚遲鈍性ニシテ滲潤肥厚セル時ニハ「サリチール」酸石鹼坭膏一〇%硫黄坭膏、二%「レゾルチン」坭膏ヲ用キ、時ニハ「うゐるきんぞん」氏軟膏ヲモ用フ。

眼險 Augulid.

慢性眼險發疹病中最モ多キモノニシテ、コトニ濕潤性

或ハ落屑性「エリチニウム」ヲ多シトス。時ニハ膿疱疹様ナルコトアリ、特ニ腺病質性小兒ニ來リ、其部組織ノ弛緩セルタメ急性症ニテハヨク浮腫狀腫脹ヲ來シ、對炎衝療法ヲ餘儀ナクセシムルコトアリ、亦眼險皮



膚ハ纖弱ナル爲メ治療劑ノ濃度ハ常ニ稀薄ナルモノヲ擇ビ、眼險線ニテハ特ニ非常ニ纖弱ナルモノヲ用フベシ。即眼險線炎 Blepharitis marginaris (眼險線ノ脂漏性乃至落屑性「エリチニウム」ヲ云フ)ニテ鱗屑ヲ形成セル時ハ先ヅ其鱗屑及痂皮ヲ去リ、勤メテ白降汞或ハ黄降汞軟膏或ハ〇.五乃至二%「レゾルチン」軟膏ヲ塗布スベシ、又赤降汞 Hydrargyrum oxydatum rubrum ヲ用ユルコトアリ。(第ニ圖)

處方

白降汞 〇〇五——〇・一

鉛糖 〇・一

「ミチン」或黄色「ワゼリン」 五〇

處方

黄降汞 〇・二五——〇・五

「ワゼリン」 一〇〇

豚脂

酸化亞鉛

特異ナル部位ニ於ケル「エリチニウム」療法

澱粉

等量五〇

處方

黃降汞

〇〇五

「ミチン」

五〇

處方

赤降汞

一〇

單軟膏

一〇〇

コトニ前者ヲヨシトス。若シ創面ヲ生ズレバ二%硝酸銀水ヲ塗布シ、次テ軟膏ヲ用ヒ、小膿疱ヲ生ズレバ切開スベシ。カクノ如キ療法ヲ月餘ニ互リテ講ジ徐々ニ廢スベシ。シカラザレバヨク再發ヲ來ス。但コノ際結膜炎コトニ水泡結膜炎 Conjunctivitis phlyctenulosa アラバ適當ニ處置シ、眼險緣「エクチエーム」ノ療法ヲ全カラシムベシ。之レ眼險「エクチエーム」ト結膜炎トハ或ハ其基礎疾患ヲ同ジクシ、或ハ相互ニ原因結果的關係ヲ有スレバナリ。又塗擦劑ヲ用フルニ際シ若シ已ムヲ得ザレバ眼ヲ閉塞セシメテナスベシ。

口圍

Mundumgebung.

ハ通常落屑性症ニシテ治癒シ難クコトニ不快

口圍

ノモノナリトス。其處置ハ先ヅ常ニソノ原因ヲ除去シ次テ他ノ部ニ於ケルト略同一ノ療法ヲ講ズベシ。只口唇粘膜ハ菲薄纖弱ナル表皮ヲ有セルヲ以テ緩和ナル處置ヲ施スベシ。晝夜勤メテ軟膏ヲ塗脂スベシ即〇二五%「サリチール」酸或ハ二%亞鉛華軟膏時ニハ杜松木「テール」油丁幾ヲ用ヒ、次デ緩和ナル軟膏ヲ塗擦スルコトアリ。頑固ニ落屑セル口唇ニハ稍、濃厚ナル「レゾルチン」軟膏ヲ用ユルモ可ナリ、但暫時間用ユルニ止ムベシ。

處方

「レゾルチン」

〇二一〇五

胡麻油

二〇

「ミチン」

八〇

口角ノ龜裂

ハ二乃至一〇%硝酸銀液ニテ處置シ、次テ緩和ナル軟膏ヲ用ユベシ。腐蝕ハ一乃至二日ニテ反覆シ軟膏ハ半時間毎ニ用ユベシ、何レノ部タルヲ問ハズ龜裂ハ皆同療法ニテ可ナリ。

耳

モ亦多クハ頭部「エクチエーム」ノ繼續ナリ、特ニ注意シテ外聽道ニ侵入セシムベカラズ。若シ侵入スレバ軟膏ヲ細キ綿棒ニテ插入シ、若シ濕潤性症

特異ナル部位ニ於ケル「エクチエーム」療法

顔面「エクサチ
チーム」ノ繃
帯

特異ナル部位ニ於ケル「エクサチーム」療法

七〇

ナラバニ乃至一〇%硝酸銀液ニテ腐蝕シ、次デ軟膏ヲ用ユベシ、耳翼後ニハ
ヨク輝裂ヲ生ズルモノナレバ注意スベシ。

顔面「エクサチーム」ノ繃帯 頰部犯サレタル時ハ困難ナリトス、フヲテ



ルニテ眼、鼻、口ニ相當ス
ル部ニ孔ヲ穿テ爾假面
ヲ作り用ユルヲ可トス。
(第三四)紐ニテ緊縛スルモ
ノトス時ニハ坭膏ヲ用
ヒ重テテ撒布スレバ繃
帯ヲ略スルコトヲ得ベ
シ。

其他ノ身體諸
部

其他ノ身體諸部 特ニ肛門竝ニ陰股部ニ來ルモノニ注意スベシ。内部
疾患ノ有無ヲ熟察シ、肛門輝裂アラバ速ニ其療法ヲ施シ、排便ノ整調ヲ計ル
ベシ。全身「エクサチーム」ニテハ急性ナルモノニハ先ヅ散劑震盪合劑ヲ賞用シ、
炎症甚シキ部ニハ濕布或ハ蒸罨法ヲ施シ、炎症去レバ一〇%亞鉛坭膏ヲ塗

擦シ、病變ニヨリ「イピチオール」ニ乃至二%)「ツメノール」ニ乃至一〇%)、タン
ノフォルム」五乃至一〇%)ヲ加ヘ最後ニ「テール」療法ヲ施スベシ、「テール」ヲ用ユ
レバ尿ノ性状ニ注意シ蛋白尿ヲ發スレバ直チニ休止スルヲ要ス。

引用書目

1. Jessner; Diagnose und Therapie des Ekzems. 1909.
2. Jessner; Die Hautleiden kleiner Kinder. 1904.
3. Finger; Die Hautkrankheiten. 1907.
4. Joseph; Lehrbuch der Hautkrankheiten. 1902.
5. Fuchs; Lehrbuch der Augenheilkunde. 1905.
6. Galewsky; Die wichtigsten Erkrankungen der Haut (Pfaundler und Schlossmann; Handbuch der Kinderheilkunde. II. Bd. 2. Hälfte.) 1906.
7. Heubner; Lehrbuch der Kinderheilkunde. II. Bd. 1906.
8. Fieschl; Therapie der Kinderkrankheiten. 1909.
9. 旭滋吉氏著、皮膚病診断及治療法 第五版。

特異ナル部位ニ於ケル「エクサチーム」療法

七一

明治四十四年五月十五日印刷
明治四十四年五月十五日發行
八

小兒濕疹ノ症候及療法

正價金六拾五錢

著者 澤野 虎次

編纂者 小川 劍三



發行者 東京市本郷區龍岡町三十四番地 田中 増藏

印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 今井 甚太郎

印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 杏林 舎

(電話下谷二七四五番)

發行所

東京市本郷區龍岡町三十四番地
(振替貯金口座東京四一八番)

吐鳳堂書

(電話下谷一六七五番
四〇七九番)



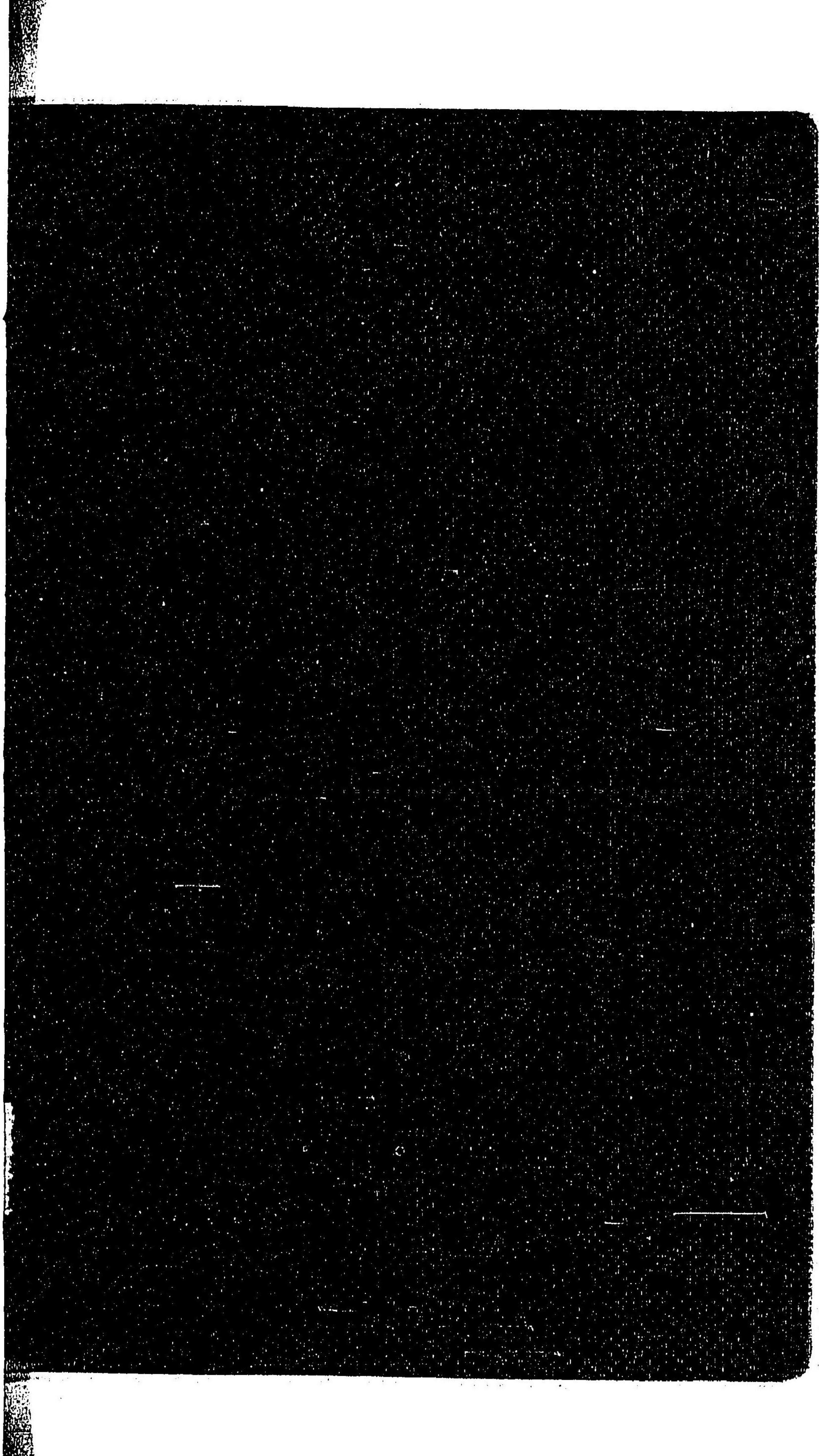
關西大賣捌所

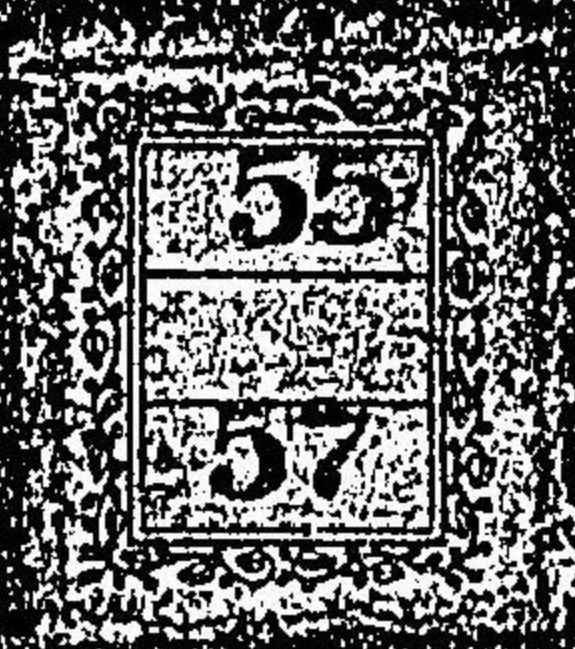
大阪市南區心齋橋筋一丁目 松村 九兵衛
 大阪市南區心齋橋筋博勞町 丸善株式會社支社

弘 通 書 林

東京本郷區湯島切通坂町	南江堂書店	名古屋市西區本町	丸善書店
同 同 區春木町三丁目	半田屋書店	京都市三條通寺町	南江堂出張所
同 同 區湯島切通坂町	合名 金原商店	京都市寺町通二條下ル	若林茂一郎
同 神田區鍛冶町	朝香屋書店	京都市三條通鉄屋町	丸善株式會社支社
同 本郷區春木町三丁目	南江堂支店	京都市河原町	大黒屋書舖
同 同 區龍岡町	朝陽堂書店	大阪市中之島玉江町	角屋書店
同 同 區本宮士町	明文館書店	岡山市上之町	渡邊宗二郎
同 同 同	文光堂書店	熊本市新二丁目	長崎次郎
同 同 同	豐文堂書店	熊本市洗馬町	片川 辰喜
同 同 區龍岡町	南山堂書店	長崎市引地町	安中集榮堂
同 同 區湯島切通坂町	宮澤書店	金澤市片町	宇都宮書店
		仙臺市新傳馬町	金英堂書店

55
57





小児皮膚科
小児皮膚科
小児皮膚科

059517-000-2

55-57

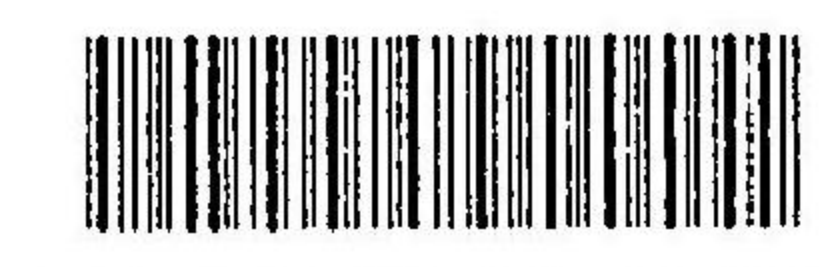
小児湿疹ノ症候及療法

(近世眼科学補遺第二卷)

沢野 虎次/著

M44

CBG-0038



55
57

